

住民と一緒に行う 地域医療教育

神戸大学大学院医学研究科 地域医療支援学部門

/

兵庫県立丹波医療センター 地域医療教育センター

見坂 恒明

本日の内容

- 兵庫県立柏原(かいばら)病院の過去と現在
- 病院を守る住民運動の活動紹介
- 地元の一般住民に、医療への関心をもってもらう
取り組み
- 地域医療教育の取り組み
- 兵庫県立柏原病院改め丹波医療センターと丹波市の
これから

本日の内容

- 兵庫県立柏原(かいばら)病院の過去と現在
- 病院を守る住民運動の活動紹介
- 地元の一般住民に、医療への関心をもってもらおう
取り組み
- 地域医療教育の取り組み
- 兵庫県立柏原病院改め丹波医療センターのこれから



丹波医療圏

人口約7万人
約500平方キロ

人口約4.5万人
約380平方キロ



丹波2次医療圏



大阪・神戸から車で
約1.5時間

丹波医療センター

丹波

篠山

神戸

人口(令和2年5月)

- ・丹波市 63523人
- ・丹波篠山市 41048人

丹波地域の中核病院

外来は臓器別の専門診療あり
入院は臓器別に分れることなく診療
“**とかいなか**”で**世界標準の**
医療の提供を目指しています。

京都・大阪・神戸から車で
約1.5時間
⇒都会に近い田舎
“**とかいなか**”

(電車の場合)

JR福知山線石生駅下車(徒歩20分)

(バス、タクシー有り)

(車の場合)

舞鶴若狭道 丹南篠山ICより北へ約20分

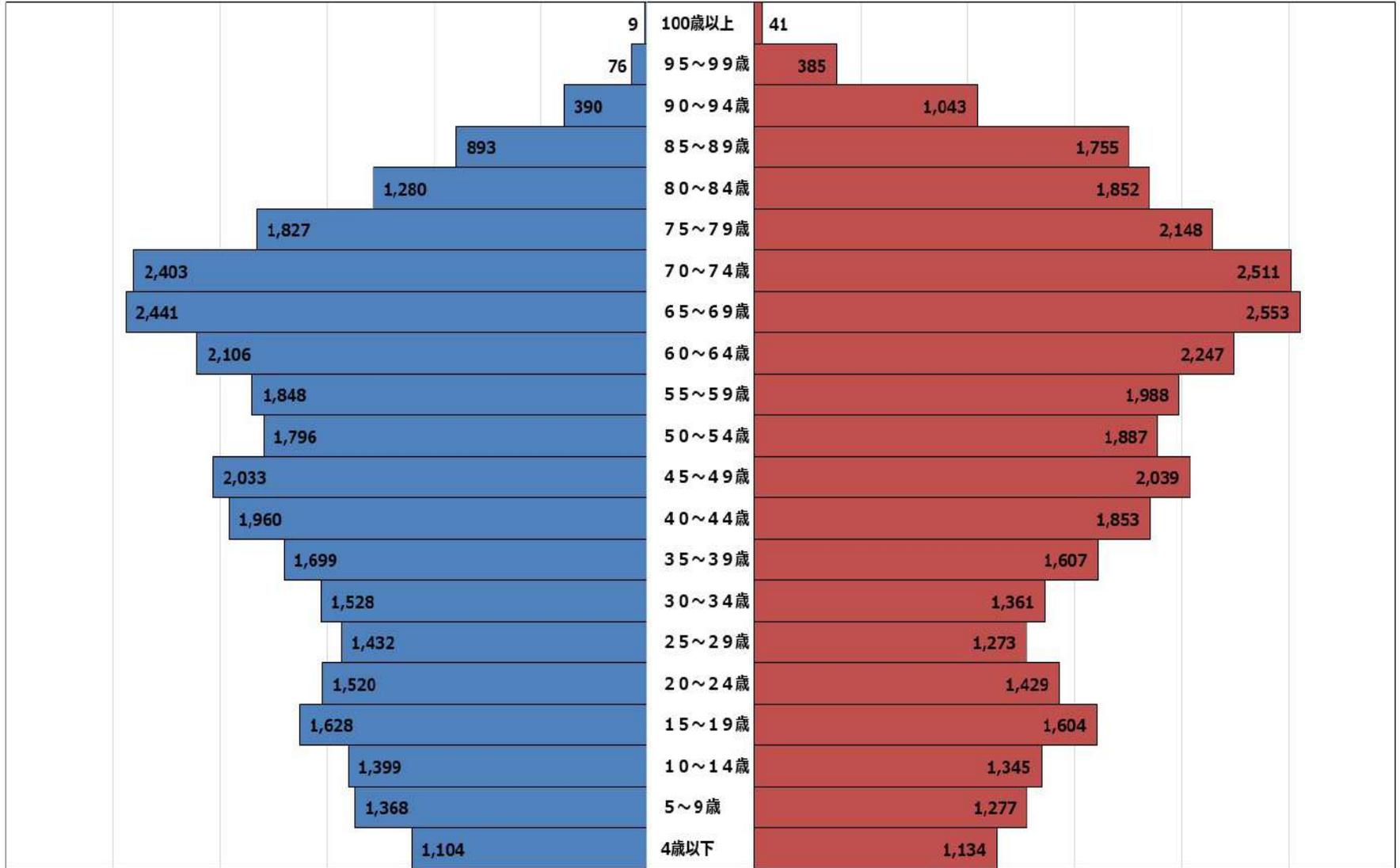
春日ICより南へ約10分

人口ピラミッド (令和元年10月末現在)

丹波市

■男性 ■女性

0 500 1,000 1,500 2,000 2,500 3,000



3,000 2,500 2,000 1,500 1,000 500 0

地元の名産・観光



ぼたん鍋



イノシシ



丹波の黒まめ



丹波松茸



丹波栗



ヒメホタル



丹波竜のちーたん



織田家 城下町柏原

66年



兵庫県立柏原病院(184床、含む緩和20)
303床

84年



柏原赤十字病院(2019/3閉院)
(59床含む地域包括23床、感染症4床)
許可病床;一般194と感染4床

統合までの軌跡と更なる発展にむけて

2020/8/13 秋田穂東



2019/7/1開院
320床(開院時238床
2020/4/1 275床)



兵庫県立丹波医療センター

柏原赤十字病院

- ・かかりやすい医療
- ・回復期医療
- ・訪問診療・看護
- ・健診

県立柏原病院

- ・急性期医療
- ・高度の専門医療
- ・救急医療
- ・緩和医療

両病院の
いいとこ
どりで融合



病院のロゴマーク



兵庫県立丹波医療センター概要

基本理念：地域医療の中核病院として良質で安全な医療を提供し、地域住民の健康に貢献します。

基本方針

1. 世界標準の医療を提供します。
2. 急性期から回復期、終末期までの幅広い医療を提供します。
3. 救急と災害医療の拠点病院として医療を提供します。
4. 多職種が協働して、信頼される患者中心の医療を提供します。
5. 地域の医療機関や丹波市健康センターと連携し最良の地域医療システムを構築します。
6. 教え学びを病院の文化とし、地域医療に貢献できる医療人を育成します。

病床数計	急性期	地域包括ケア	回復期リハ	緩和ケア	感染症
320床	204床	45床	45床	22床	4床

診療科目：27科

内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、脳神経内科、血液内科、緩和ケア内科、糖尿病・内分泌内科、小児科、放射線科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科

施設の特徴

1.急性期から回復期、終末期までの幅広い医療の提供

- ・がん、急性心筋梗塞、脳卒中など高度専門医療を提供
- ・機能別の病床を配置し急性期から終末期まで幅広い医療を提供

2.救急医療提供体制の充実

- ・脳血管、循環器疾患等重症救急患者に対応
- ・救急外来から手術室及び集中治療室への直通エレベーターを設置
- ・屋上ヘリポートを整備

3.地域医療を担う人材の育成

- ・スキルスラボ、学生指導室など研修環境の整備及び多様で魅力ある研修プログラムを提供

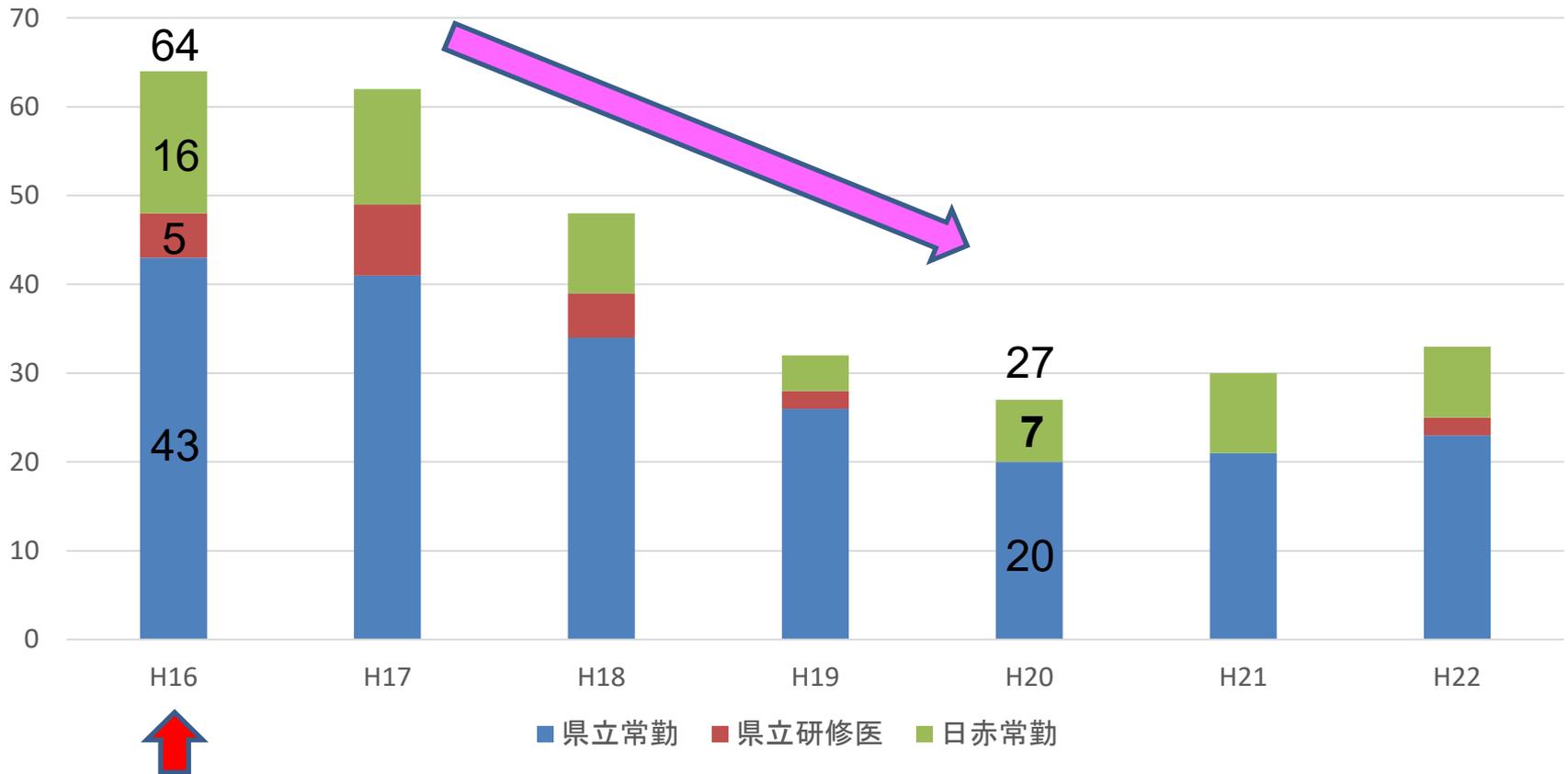
地域医療崩壊

その原因は“地域病院の崩壊”

1. 医師の偏在--地域、診療科、時間(休日や夜間)。
2. 大学の人材派遣能力の崩壊(H16年研修義務化以降)。
⇒研修医は自由に研修先を選ぶ。
3. 医師の絶対的不足--2.2/1000人、
OECD34カ国中29位、平均;3.2/1000人(H25年)。
4. 医療の専門分化による相対的医師不足
特に内科が臓器別に細分化—“**私の病気じゃない**”
大学では臓器別専門医が育成されている。
5. 女医の働く環境整備の遅れ。
6. 医師の仕事量の増加—IC説明、書類の増加など。
7. 患者のコンビニ受診。
8. 医療訴訟の増加--福島県立大野病院事件(H18年)

県立と日赤の医師数変化

グラフタイトル



新医師臨床研修制度; 病院が研修医から選ばれる時代になった。

柏原赤十字病院

目と鼻の先(500m)に日赤

200床超→167床→55床(2007年)

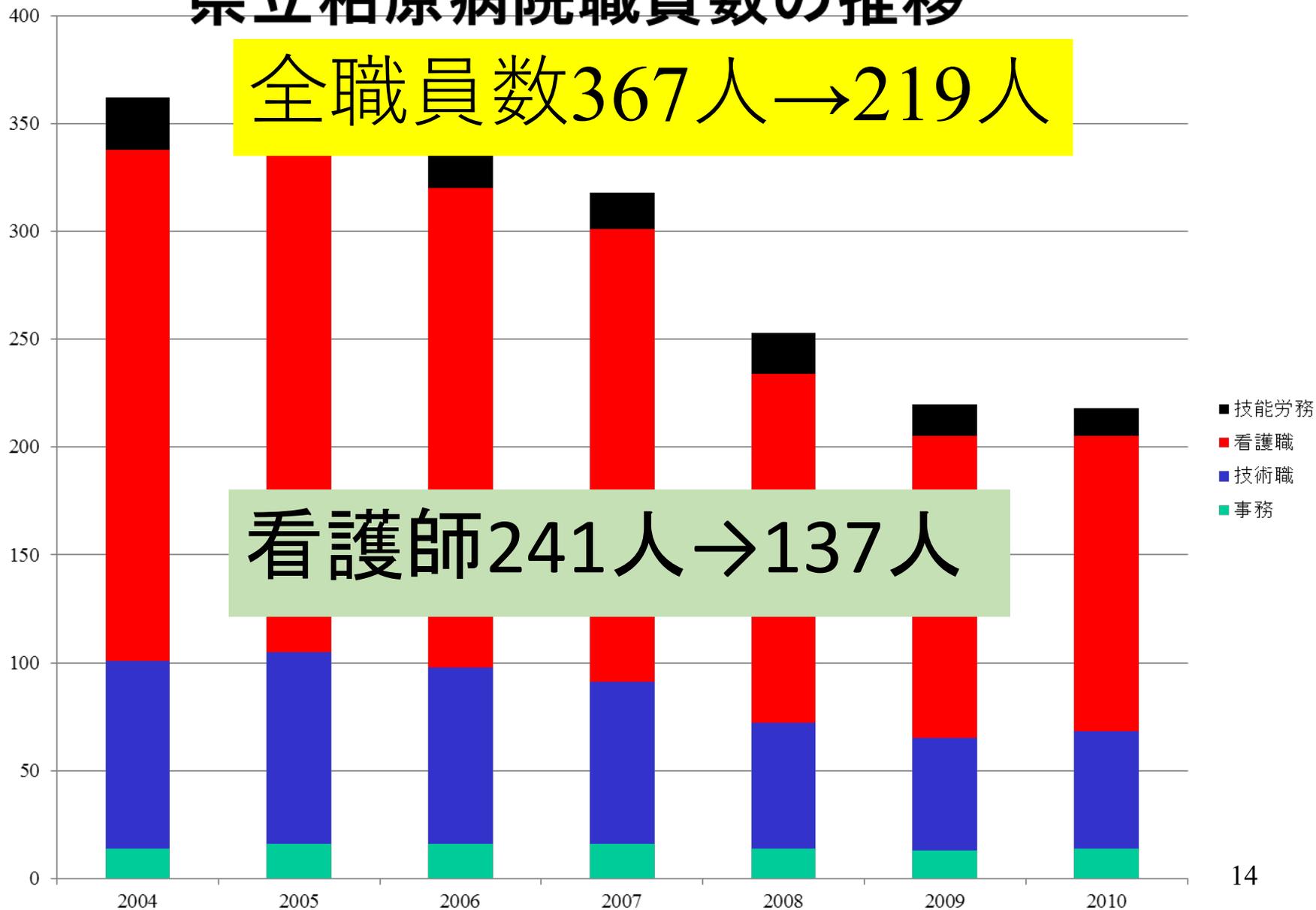
医師数14人→3人(2007年)

医師数7人(2016年)

県立柏原病院職員数の推移

全職員数367人→219人

看護師241人→137人





【あきた・ほづか】大阪府立今宮高校卒業、1976神戸大学医学部卒業、1980同第一内科医員、1983米・St. Louis Washington大学内科学専攻、1985神戸大学第一内科専攻、2000同医学部附属病院総合診療部長(現代)総合内科、2010同総合臨床教育・育成学外専攻部長、2013兵庫県立柏原病院院長、2017柏原市立病院院長(現務)

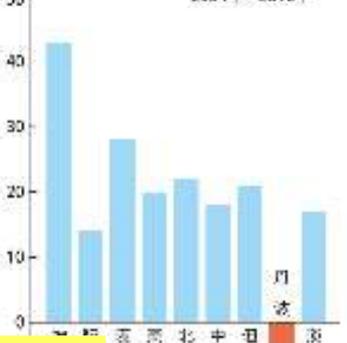
兵庫県立柏原病院 秋田 穂東 院長

“医学教育”で勝負する 病院を日指す

山々に囲まれた自然豊かな町、丹波市の昇野病院。兵庫県立柏原病院、2004年の新卒医師研修制度の開始から4年後、医師数がほぼ半減するなどの危機に直面した。2013年に就任した秋田穂東院長は、大学ではできない医学教育をする教育拠点病院を目指すことでその危機を脱し、地域医療のモデルとなる新たな病院づくりを具現化する。

「丹波市人口が約6万7000人、市内には公的病院として11年の歴史を持つ当院と、柏原赤十字病院がある。2007年には小児科の存続が危ぶまれる事態になり、県立柏原病院小児科を閉鎖した。しかし、2008年には医師が激減し始めた。09年には、1次投票の開票の隔年を地域に呼びかけるを導かない状況に陥りました。2013年に就任した秋田穂東院長は、大学ではできない医学教育をする教育拠点病院を目指すことでその危機を脱し、地域医療のモデルとなる新たな病院づくりを具現化する。

地域別医師数の変化(10万人口)
2004年～2012年



平成25年4月

「柏原市は人口が約6万7000人、市内には公的病院として11年の歴史を持つ当院と、柏原赤十字病院がある。2007年には小児科の存続が危ぶまれる事態になり、県立柏原病院小児科を閉鎖した。しかし、2008年には医師が激減し始めた。09年には、1次投票の開票の隔年を地域に呼びかけるを導かない状況に陥りました。2013年に就任した秋田穂東院長は、大学ではできない医学教育をする教育拠点病院を目指すことでその危機を脱し、地域医療のモデルとなる新たな病院づくりを具現化する。



秋田穂東院長による研修。研修生が活用した教育回廊。

「柏原市は人口が約6万7000人、市内には公的病院として11年の歴史を持つ当院と、柏原赤十字病院がある。2007年には小児科の存続が危ぶまれる事態になり、県立柏原病院小児科を閉鎖した。しかし、2008年には医師が激減し始めた。09年には、1次投票の開票の隔年を地域に呼びかけるを導かない状況に陥りました。2013年に就任した秋田穂東院長は、大学ではできない医学教育をする教育拠点病院を目指すことでその危機を脱し、地域医療のモデルとなる新たな病院づくりを具現化する。

前神戸大学総合内科 教授が院長に着任

研修医が希望する病院は？

- 1) 指導・教育体制がしっかりしている。
- 2) 幅広い病気、commonな病気が経験出来る。
⇒ 大学病院は敬遠される
- 3) いろいろな救急が経験できる。ER型を希望。
- 4) 検査・治療手技が経験出来る。
- 5) 診療科の垣根がない。
- 6) その他、
きれいな病院、給料がいい、仕事がきつくない、
都会にある、など。

基本的臨床能力評価試験

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
1年次	18位 /231病院	43位 /291病院	43位 /358病院	9位 /411病院	39位 /440病院
2年次	18位 /273病院	12位 /318病院	6位 /391病院	10位 /441病院	6位 /469病院
総合	31位 /319病院	15位 /380病院	20位 /459病院	13位 /503病院	6位 /370病院

系統だった医学教育とその実践
自分たちで考え、行動・実行
フィードバック

若手医師の学会活動での受賞



日本内科学会総会において、優秀演題賞を受賞。



第116回 日本内科学会総会・講演会
医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ 2019名古屋

 **WONCA** Asia Pacific Regional Conference 2019 **Kyoto, Japan** Medical generalists: bringing forward a brighter future

 **第10回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会**
The 10th Annual Conference of Japan Primary Care Association これまでの10年 これからの100年

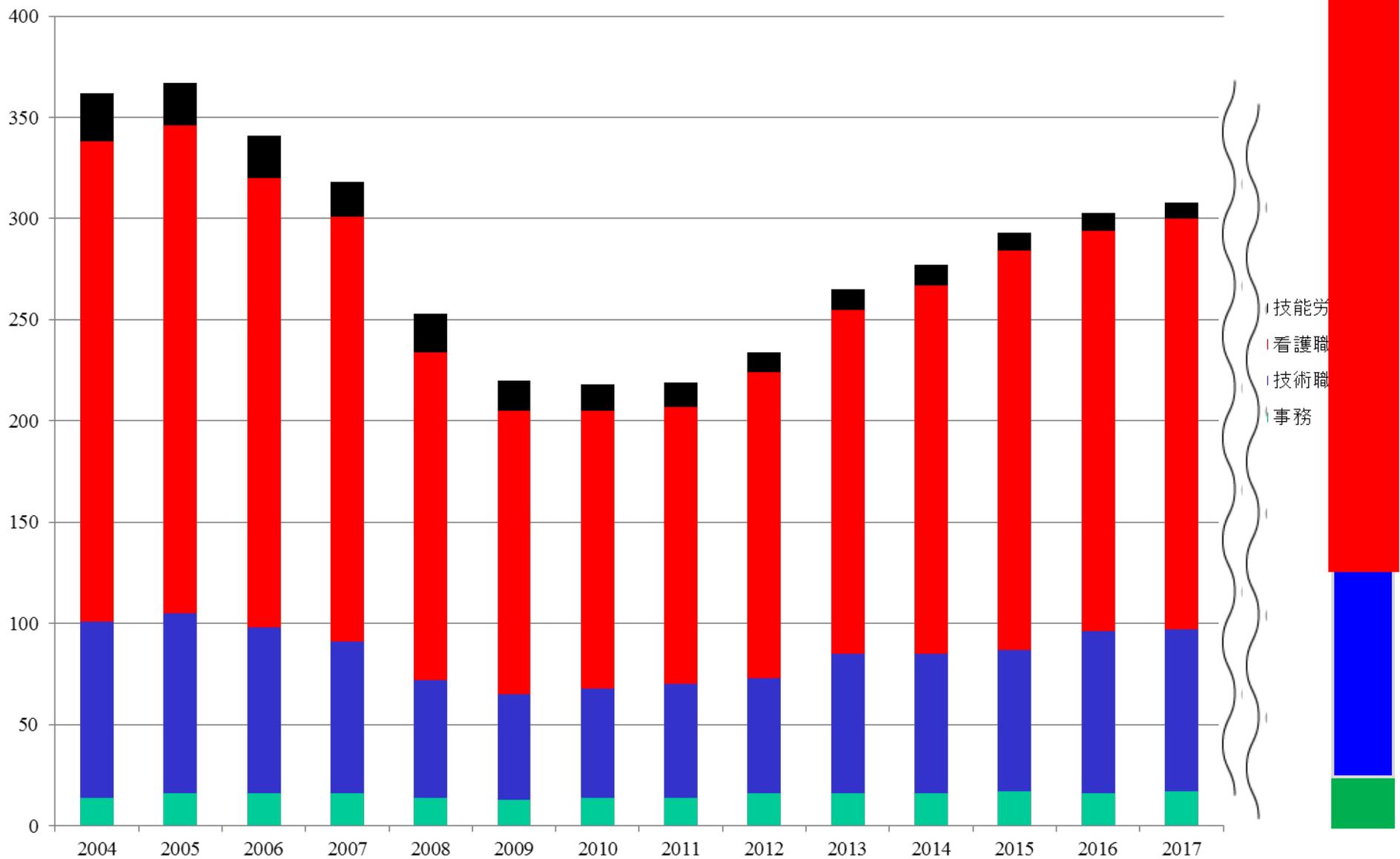


常勤医師数と初期研修医数の推移



※常勤医師2008年は年度途中。初期研修医は神戸大とのタスキ掛けを除く

県立柏原病院職員数の推移



2020

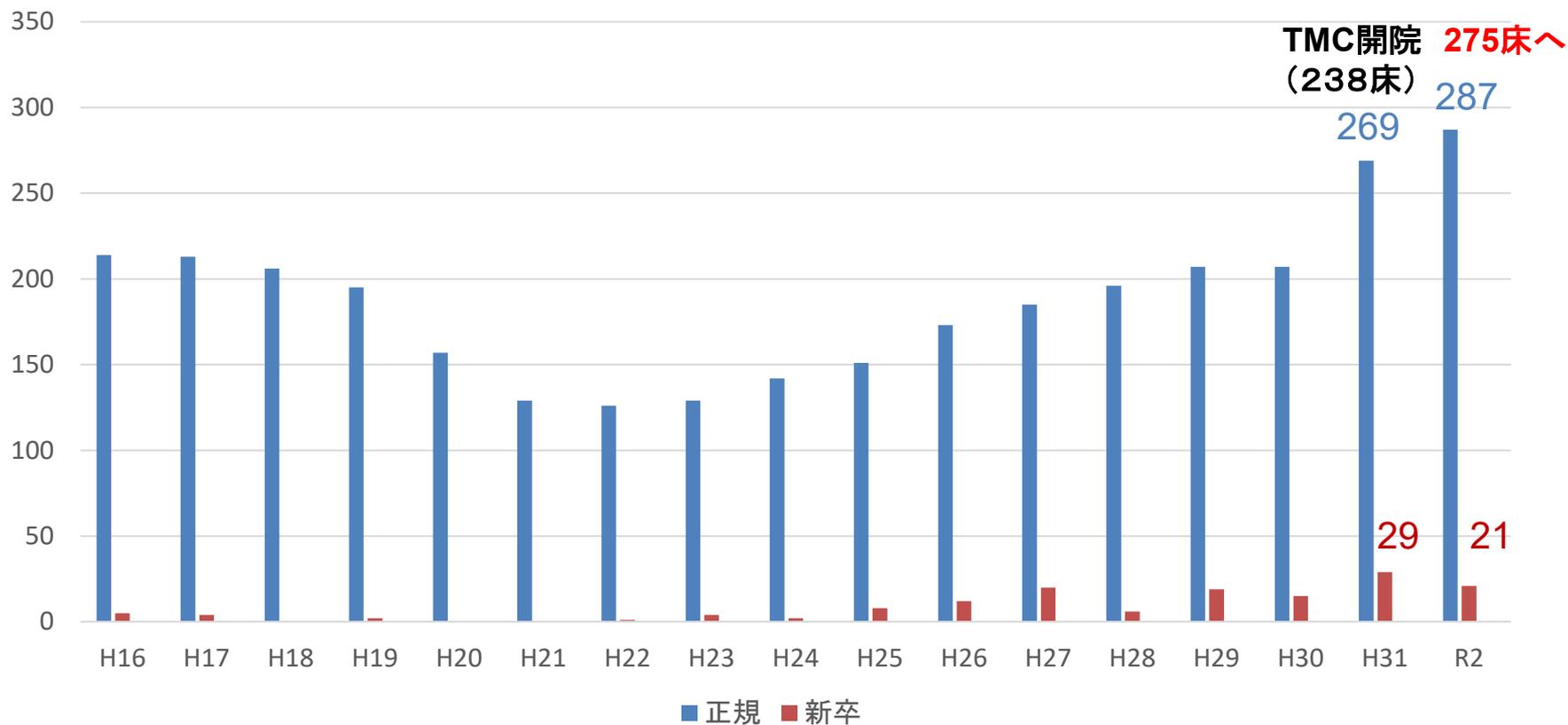
専攻医数 (卒後3-5年目)

グラフタイトル



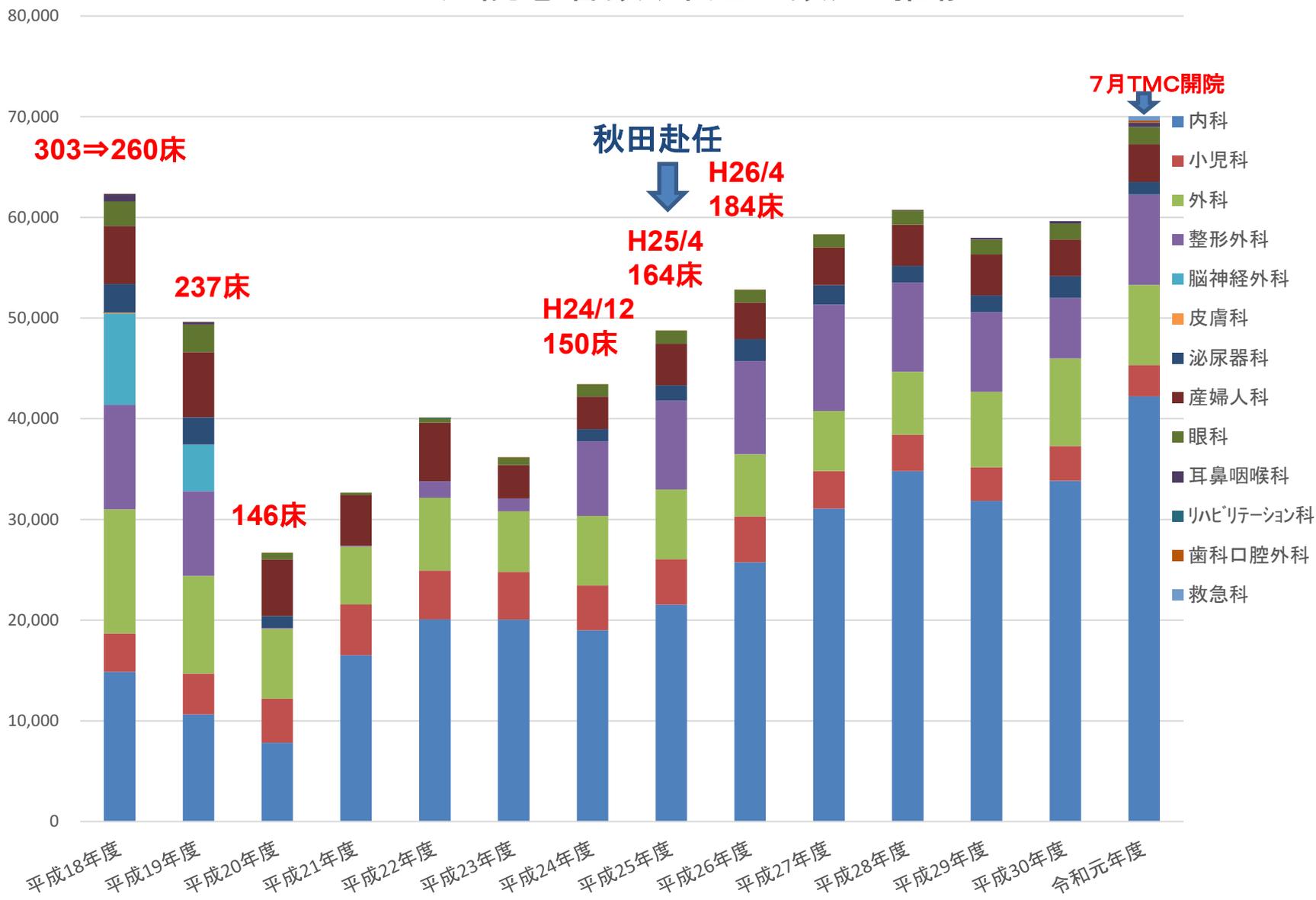
県立柏原病院の看護師数の変化

グラフタイトル

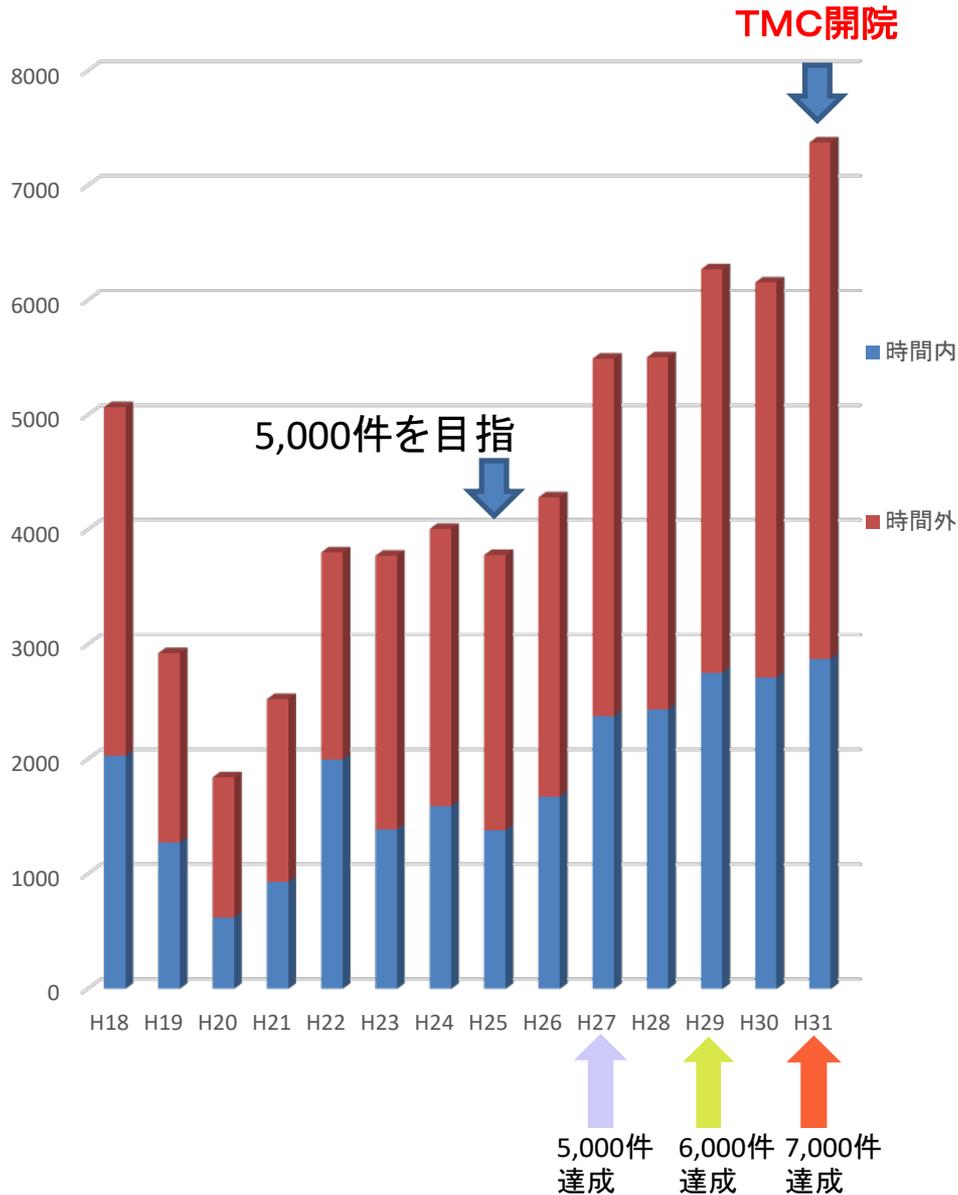


➡ 若い看護師も集まる病院に変貌！！

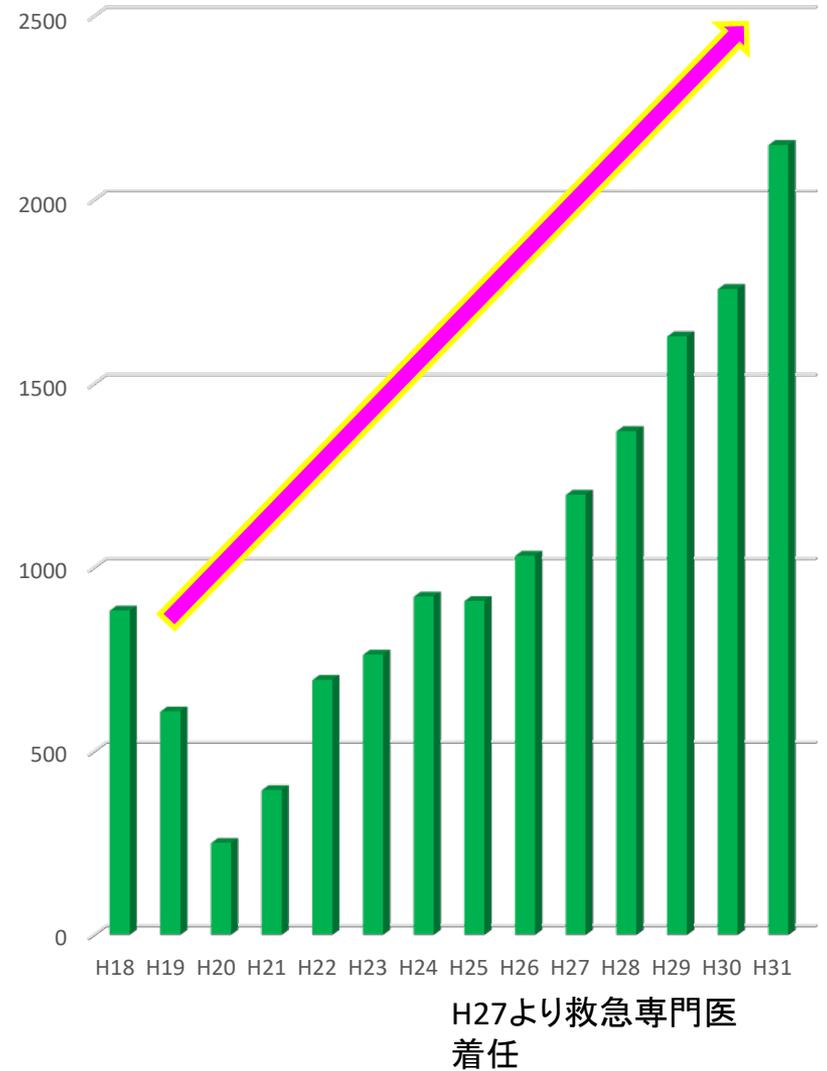
入院患者数(年延べ数)の推移



救急外来患者数



救急車搬送件数



本日の内容

- 兵庫県立柏原(かいばら)病院の過去と現在
- 病院を守る住民運動の活動紹介
- 地元の一般住民に、医療への関心をもってもらおう
取り組み
- 地域医療教育の取り組み
- 兵庫県立柏原病院改め丹波医療センターのこれから

丹波市の病院を 支えている住民活動

- 県立柏原病院の小児科を守る会
- 丹波医療再生ネットワーク
- たんば医療支え隊
- オオムラサキの会

県立柏原病院の小児科を守る会

平成19年



- ・コンビニ受診を控えよう
- ・かかりつけ医を持とう
- ・お医者さんへの感謝の気持ちを伝えよう

署名ありがとうバザー

フリーマーケット

守る会
オリジナル
デザインの
値札



- 神楽の郷でのフリーマーケット



- 春日町おばあちゃんの里でのフリーマーケット



感謝の気持ちを伝えよう

- 柏原病院小児科へ寄せ書きを贈る



ステッカーを 作りました



冊子「病院に行く、その前に」完成

受診の目安に…



- 監修... 柏原病院小児科
- 乳幼児、保育園児、幼稚園児のいる全家庭に配布



県外からもたくさんのお注文が頂いています（海外からも）

嘔吐



小児救急医療電話相談
[#8000]を活用
しましょう (兵庫県)

1回吐いたら1~2時間ほどは飲んだり食べたりせずにお腹を休めて！
発熱+頭痛+嘔吐の3つがそろえば『髄膜炎』の可能性あり！要注意！
緑色そして血性の嘔吐にも注意！お子さんはパパ・ママに怒られたり、
怪我の痛み等のストレスや不安が原因で嘔吐することもあります。

医師に伝えること

- ・吐いた回数
- ・吐いたものの内容
- ・どんな状態で吐いたか
(げっぷと一緒に吐くなど)
- ・発熱や下痢など、嘔吐以外の症状について

☆ホームケア

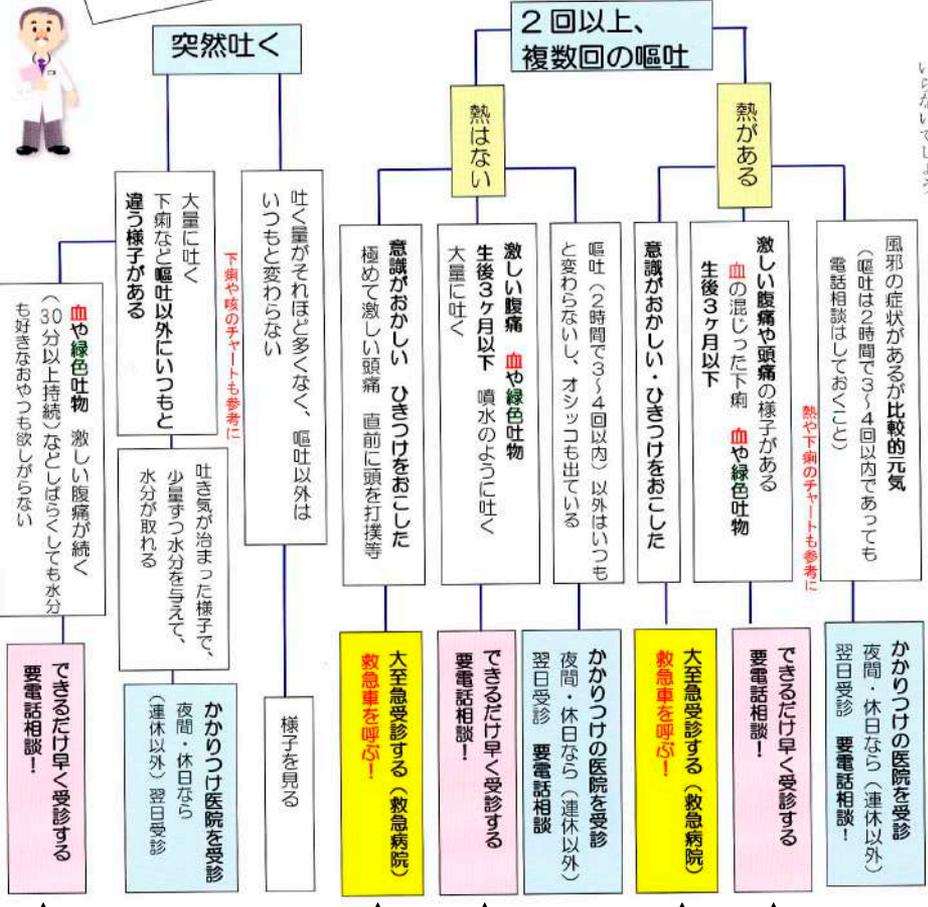
☆赤ちゃんの好きなものを飲ませる…脱水症にならないよう嫌がらなければ、少しずつこまめに水分を補給してあげましょう。

☆顔、体、衣類、寝具も清潔に…口のまわり、あごや耳の中など吐いたものが流れ込んでいるときがあります。しめらせたガーゼでそっとふき取ります。

☆吐き気が続くときは、やさしくだっこ…だっこの時は赤ちゃんが吐くことも考えて、お母さんは肩から胸にタオルを当てておくようにします。

寝かせる時は上体を高くして顔を横にして。

☆症状は人によって異なるため様子をよく観察して、全てのチャートはあくまでも目安なので、心配な時はかかりつけ医を受診して、医師の指示に従いましょう。



赤ちゃんは少しの刺激で吐くことがよくあります。赤ちゃんの胃は大人のように曲がった形ではなく、細長い筒のような形をしているため、大人より吐きやすいもの。また、胃の入り口である嚕門の筋肉が未熟なため、ちよつとした刺激で吐いてしまうことがあります。授乳後に口の端からおっぱいやミルクをダラダラと吐く(いつ乳)ことがあります。元気があり、体重が順調に増えていれば心配ありません。また、げっぷとともにおっぱいやミルクを吐いてしまつたり、咳き込んで食べたものをどすのはよくあることです。吐いた量が多くなく、機嫌がよくてほかに症状がなければ心配いらないでしょう。

軽症の場合、感染性胃腸炎の初期や便秘、自家中毒が多い。虫垂炎や穿孔・腸閉塞の腹膜刺激症状を見逃さない努力と家族への説明も必要

発熱と嘔吐の二つ 腹膜刺激症状が出ているので、できる限り診察の対応努力をするか

腸閉塞・幽門狭窄
脳腫瘍・出血
アナフィラキシー等

腸閉塞
嘔吐1回でも重症のサインがあれば受診を勧める。



「丹波のお母さんが、
日本の医療を救う」

2008年7月3日 舛添要一厚生労働大臣来丹

「医療を提供する側と
受ける側が一体的に
取り組んでいる
先進的な地域！」



野田佳彦内閣総理大臣

2012年4月7日柏原病院視察



2012年4月7日 野田佳彦首相 視察

丹波医療再生ネットワーク

医師、薬剤師、歯科医師、市民の有志の集まり





自治会を回って
出前講座をしています。

298自治会に
講座の案内を出しました
丹波市が開催を
支援してくれています。

最近の兵庫県内の医療事情

緊急医療フォーラム

医療大崩壊

カウントダウンを止められるか？



11/8(土)
19:00
ポップアップホ

「病院は生き残れるか」

県立と日赤が
医師はこ

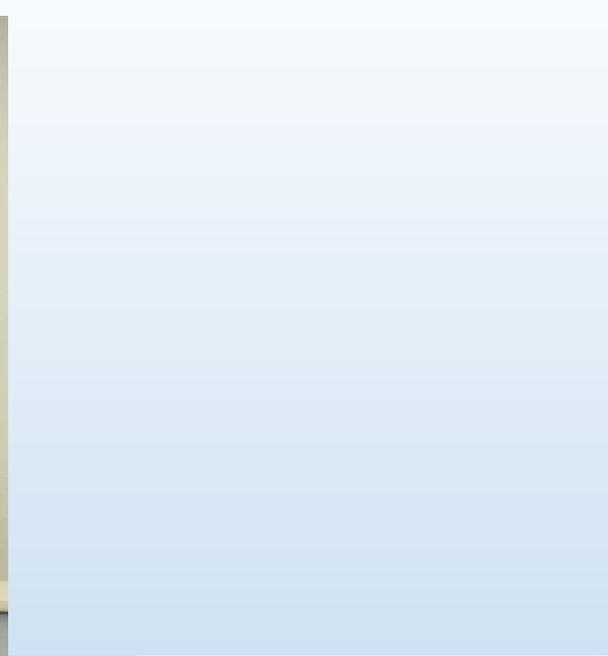
フォーラムを 開催しています

※市民団体が開催するので、
市が開く必要がない。

10年間増えない!

主催：丹波医療再生ネットワーク





丹波ざわざわカレッジ

毎月第2火曜19時30分から



医療崩壊を考える映画

「今ここであなたが倒れたら」

を作りました

YOUTUBEで見れます!!!





有志が病院で草刈り 地元住民が「恩返しに」と企画



新病院になっても
続いています。

たんば医療支え隊



毎週木曜に「差し入れ定期便」



夏季地域医療体験実習

丹波医療再生ネットワーク と丹波医療支え隊 学生と住民のふれあい



丹波医療再生ネットワークと 丹波医療支え隊の皆さんと職員・学生との交流





病院ボランティア
「オオムラサキの会」始動



ボランティア研修
「病院フェスタ」を提案

「病院フエスタ」実現





わたしの名前



わたしのゆめはナースになることです。

テレビでコロナウイルスにかかった人がいっぱいいて、言っていたときわたしは病院の人たちにかんはれとつたえくて心の中でかんばってくださーと言いました。わたしは病院の人たちみたいにコロナウイルスをふせけるようにかんばります。いっぱいこまっている人がいるので、且りけてください。

コロナウイルスは本当にきつな〜と思います。でも勇気をたしてかんばってください。大人になったら病院の人になれるに勉強を、かんばります。

心をこめて書いた手紙をおくります。

春日ニバス 船城小5年

新型コロナウイルス感染症をなくするために頑張っていておられるお医者さん、かんごしさん、病院や医員の皆さんへ

春日ニバスケットボール教室 5年生



私はニバスケットボール教室に入部しています。

4月で春日部小学校になりました。

3月から学校に行けなくなり5年生になっても感じもしません。バスケもボクシングもお休みです。

お医者さん、かんごしさんがみなさんのためにかんばってらっしゃるので、私も家でできる事をがんばっています。

私たちが今できる事(家にいて、しっかり勉強をして自分がコロナにならない事)です。

お医者さん達の負担を少しでも減らせるように。

うがい、手洗いをしっかりとします。

コロナに負けないでかんばってください。

応援しかできませんが、いつもありがとうございます。

丹波市の病院を 支えている住民活動の特徴

- ・単に医療者の方、頑張ってくださいという
応援だけではなく、自分たちも時に痛みを
伴いながら、行動・実行を行っていること！

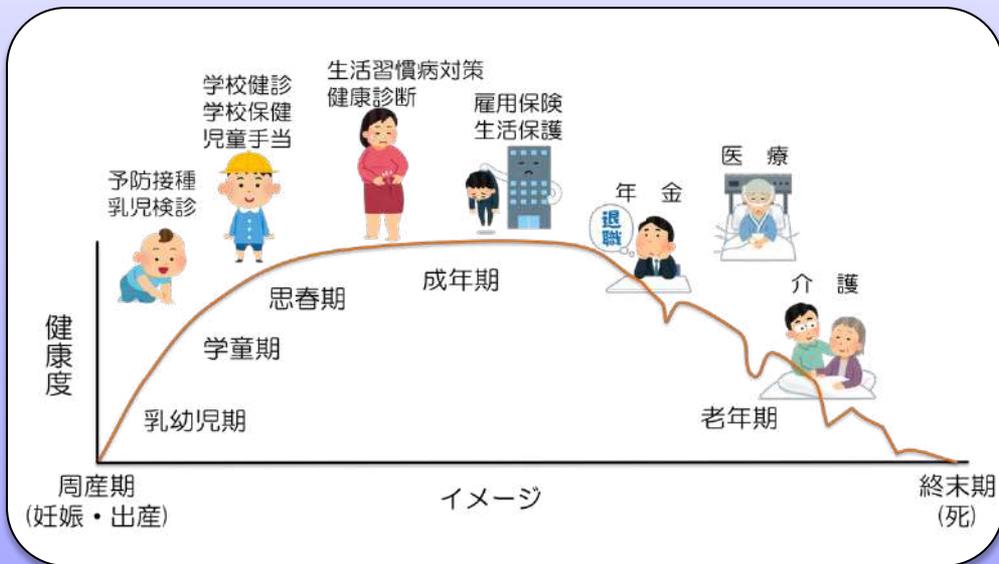
本日の内容

- 兵庫県立柏原(かいばら)病院の過去と現在
- 病院を守る住民運動の活動紹介
- 地元の一般住民に、医療への関心をもってもらおう
取り組み
- 地域医療教育の取り組み
- 兵庫県立柏原病院改め丹波医療センターのこれから

地域医療とは

住民

健康上の不安や悩み



暮らし(生活)



安心の暮らしを
支える医療活動

患者さんだけでなく、
住民が安心して、幸せに暮らせるように。



地域医療を考えるとき

- **地域住民ありき**
- **地域住民にとって、医療を身近なものとして考えてもらう**
- **医学教育においては、住民との関わりが本質的に欠かせない**

病院フェスタ

- ◆ 地域と病院との交流
- ◆ 病院の各部門が出店やアトラクションを企画
- ◆ 地域の方に楽しんでいただく
- ◆ 病院をより身近に感じてもらえるように開放



丹波医療センター・健康センターミルネフェスタ



院長あいさつ



オープニングセレモニー 柏原高校吹奏楽部による演奏♪



DMAT カー・救急車の展示



ヘリポート探検ツアー



健康広場でくつろぎタイム

丹波医療センター・健康センターミルネフェスタ



好天气に恵まれ大盛況！



氷上高校によるバザー



リサイクルバザー



たこ焼きのたこたこクラブ！



名物の給食カレー



ヨーヨーつりは子どもに大人気！



西崎副院長 & 岸外科部長 & 平田医師のコラボで丹波市の歌熱唱♪



ゴージャスな姉妹が10年ぶりに復活！



丹波医療センター・健康センターミルネフェスタ



ミニコンサート♪ 音楽療法士の梅谷浩子先生の楽しいコンサート。ウクレレとフラダンスのチームのコラボが大人気！



可愛いフラダンスの子供達



秀教会による民謡披露
唄と踊りと三味線で魅了！



アカペラグループ「parakeet」さんと
中島医師(ほか)による熱い歌声♪

丹波市長も 病院フェスタに参加



2019年度 研修医が住民向けに寸劇「西遊記」を 自作し**熱演** ミルネ診療所を紹介





**トライやる・ウィークで中学生が
病院体験**



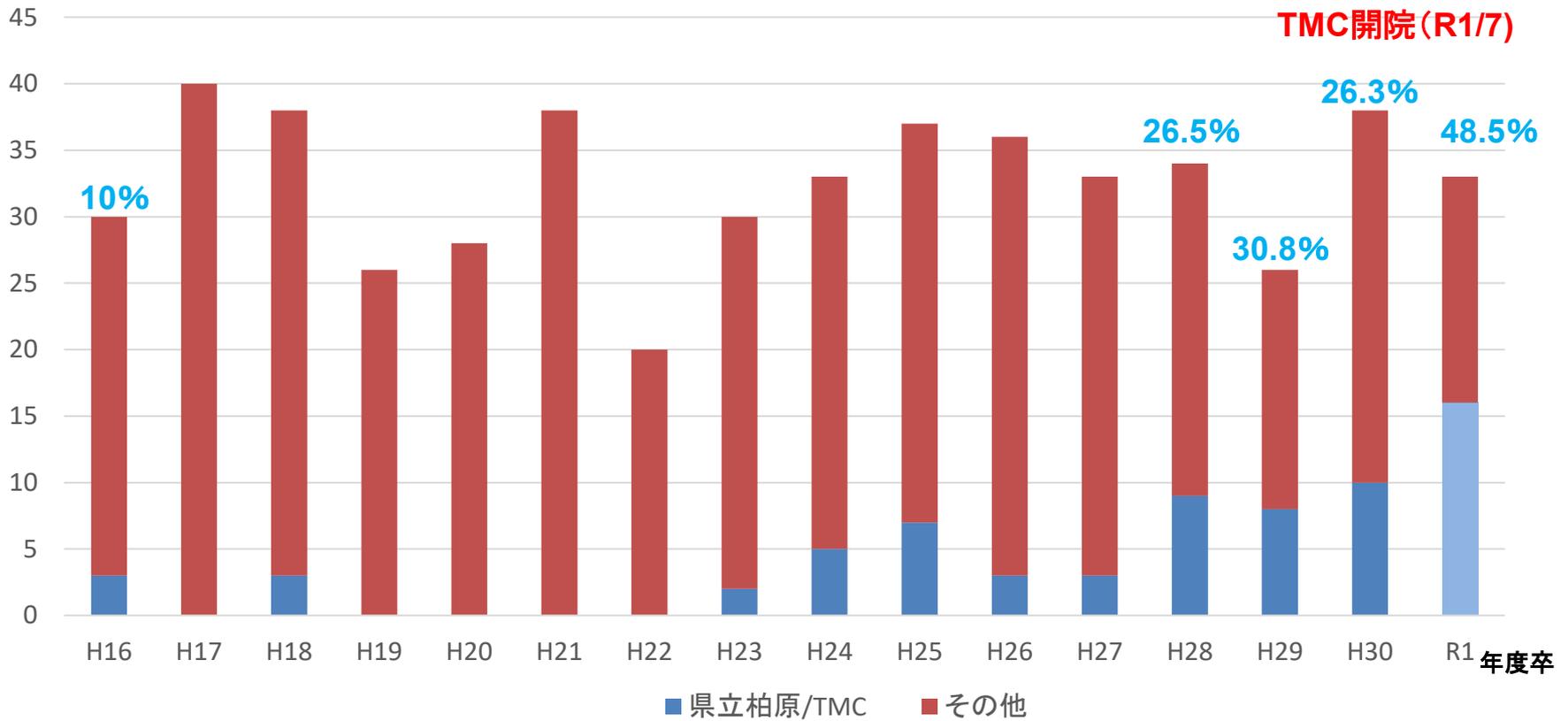
ふれあい看護体験

地元高校生7-10人/日X5回
計44名(1年から3年)が参加



柏原/丹波看護学校就職先

グラフタイトル



定員一学年40名

本日の内容

- 兵庫県立柏原(かいばら)病院の過去と現在
- 病院を守る住民運動の活動紹介
- 地元の一般住民に、医療への関心をもってもらおう
取り組み
- 地域医療教育の取り組み
- 兵庫県立柏原病院改め丹波医療センターのこれから

地域医療臨床実習において診療 以外で地域住民とふれ合う機会

自治医科大学地域医療学センター
南建輔、岡山雅信、上田祐樹、
小松憲一、森田喜紀、山本祐、

**地域医療実習において、
地域住民と触れ合う機会の重要性が
示唆**

丹波

2016/5/16 18:30 神戸新聞NEXT

■ 神大医学部生、地域医療学ぶ 柏原病院で臨床実習

ツイート

おすすめ 0

印刷



担当医らの指導を受けながら患者を診察する医学部生ら＝丹波市、兵庫県立柏原病院

兵庫県立柏原病院（丹波市柏原町柏原）で、神戸大学医学部の学生らが交代で臨床実習に取り組んでいる。同病院では今年7月までに計14人を受け入れる予定で、昨年の6人から大幅に増えた。地域医療の前線を学べる環境が、学生らの人気を集めているという。

同学部の6年生は2週間単位の臨床実習が必修で、自ら病院などの実習先を選ぶ。柏原病院では、秋田穂東院長らが中心となって若手教育に力を入れており、学生の

実習受け入れにも積極的に取り組んでいる。

医学部5年生の実習実例

	午前	午後
月曜日	丹波の医療介護連携システムや疾病構造について	小児予防接種 病棟 身体診察回診
火曜日	乳児離乳食教室 (5か月の乳児と母)	認知症予防事業 (いきいき百歳体操)
水曜日	初診外来	3歳児健診
木曜日		訪問診療
金曜日	ハルディックウォーキング	

冬季セミナー 緩和ケア病棟患者の思いを聞く

神戸新聞 ホーム > 地域 > 丹波 > 患者家族の思い聞き取る 医学生が柏原病院で実習

丹波

🕒 2015/12/24 21:40 神戸新聞NEXT

患者家族の思い聞き取る 医学生が柏原病院で実習

🐦 ツイート

👍 おすすめ 0

印刷 📄



緩和ケア病棟の患者の家族が抱える思いを医学生が聞き取るセミナーがこのほど、兵庫県立柏原病院（丹波市柏原町柏原）であった。神戸大医学部（神戸市中央区）や兵庫医科大（西宮市）の2～5年生9人が訪れ、時折涙を浮かべて語る患者家族に、真剣な表情で向き合った。

2016地域医療冬季セミナー in 県立柏原病院

多職種事例検討会
16:15～16:55



臨床倫理 4 分割表

医学的適応
Medical Indication

患者の意向
Patient Preference

Q O L
Quality of Life

周囲の状況
Contextual Features

病状認識・思い

自分の家で
生活したい。

デイサービスには
行きたくない。

薬は自分で管理でき
ている。
(実際は難しく、姪の
管理)

買い物とか、散歩
とか出かけるのが
億劫…



社会的背景



住居
持ち家
(一戸建て)

夫と二人暮らし
(夫は朝早くから夜遅くまで
就労されている)

収入
国民年金

入院前はヘルパーを2回/週利用、
子供は遠方に居住しており、近所
に住む姪がサービス利用のない日
に内服薬の確認に行っていた。

経済的にも
困るが、家で
の生活はもう
無理



延命処置は望んでいない
家で生活するのは無理

冬季セミナー 入院患者の思いを聞く

神戸新聞 ホーム > 地域 > 丹波 > 患者家族の思い聞き取る 医学生が柏原病院で実習

丹波

2017/1/5 05:30 神戸新聞NEXT

■ 入院患者の思い聞き取る 丹波で地域医療セミナー

ツイート

おすすめ 0 シェア

印刷



患者に入院生活や病状を聞く医学生ら＝県立柏原病院

医学生が現場を学ぶ「地域医療冬季セミナー」がこのほど、兵庫県丹波市柏原町柏原の県立柏原病院であった。県養成医学生の10人が患者にインタビューし、入院生活で抱える思いなどを聞き取りした。

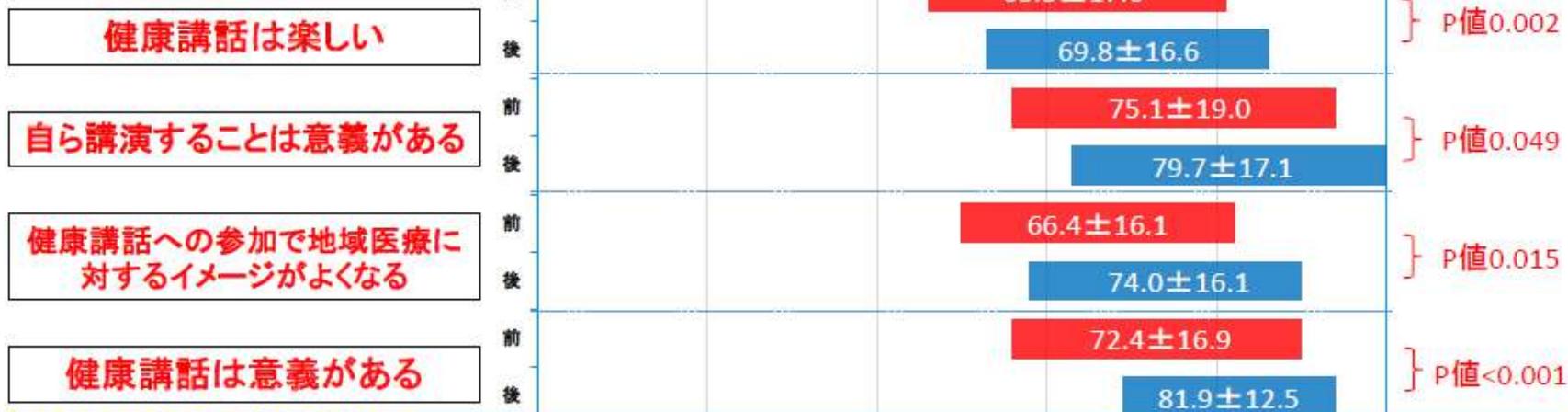
同病院や神戸大地域医療教育学部門などが毎年開催。県が学資を貸与する養成医学生が対象で、神戸大、兵庫医科大、自治医大、岡山大から参加があった。

柏原病院研医との懇談会 毎月開催



回答者の属性: 研修医1年目 10名, 2年目 30名. 平均年齢 27.4 ± 3.1歳. 男性 25名, 女性 15名.

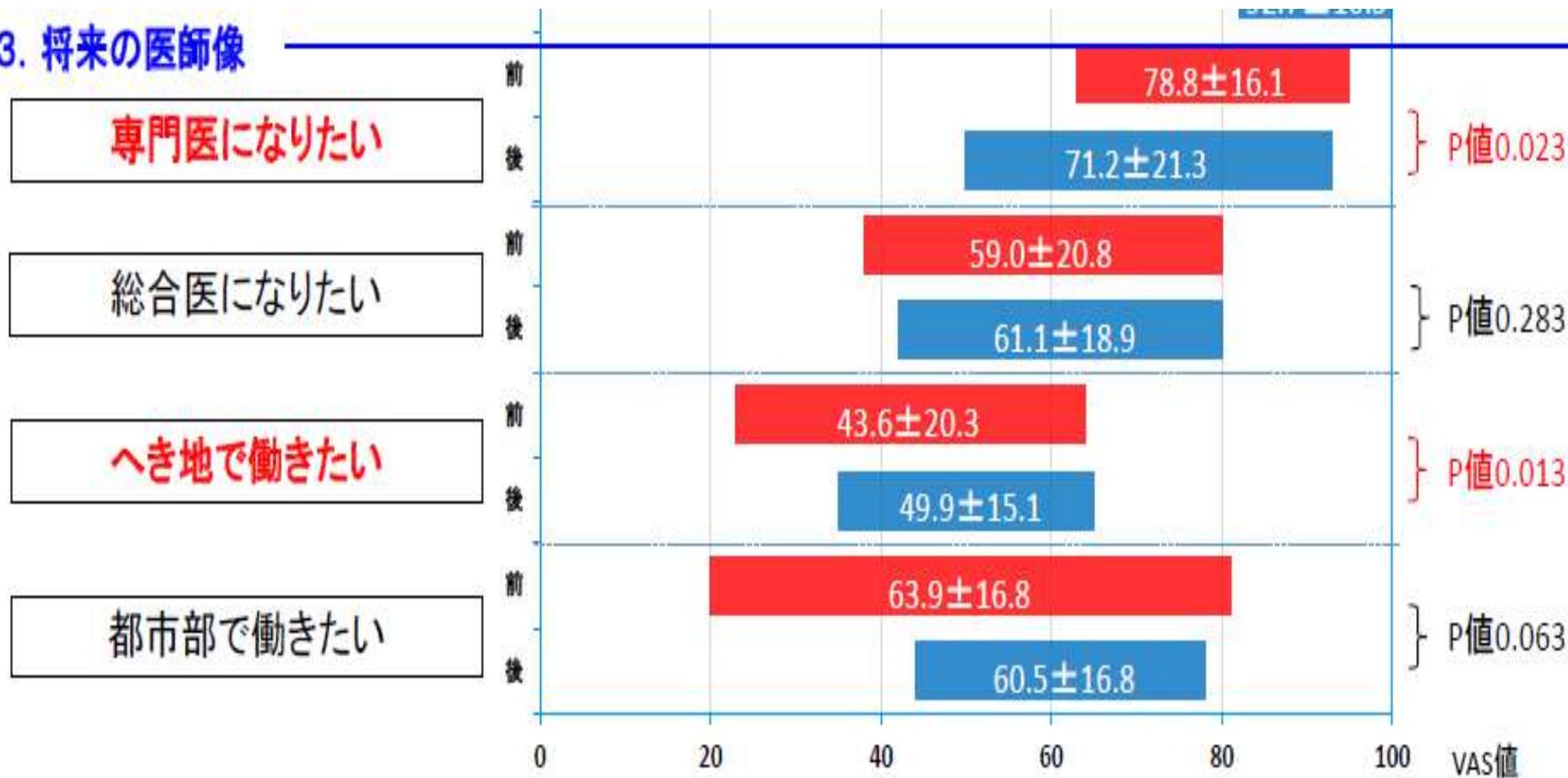
1. 丹波市市民健康講座への認識



2. 地域医療に対する意識



3. 将来の医師像



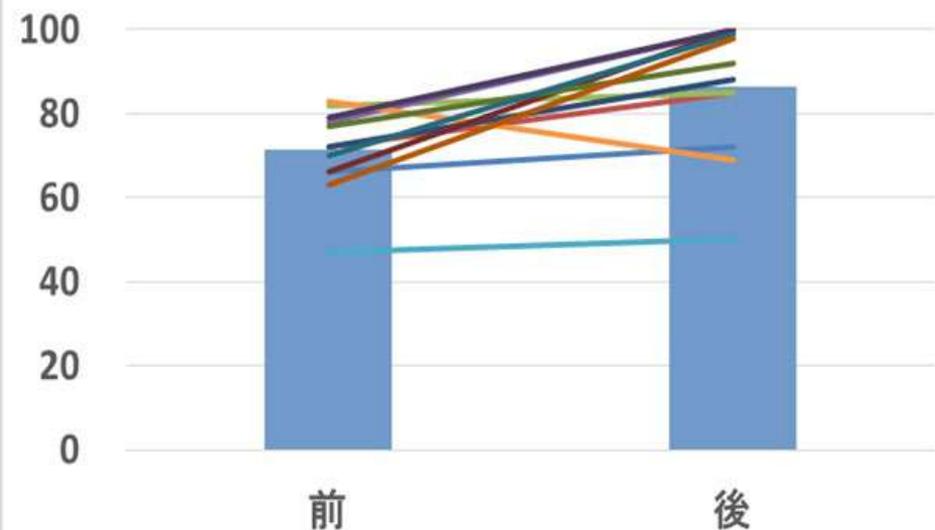
将来の医師像で、専門医になりたい減少し、
へき地で働きたい希望が上昇。

学生による住民講話

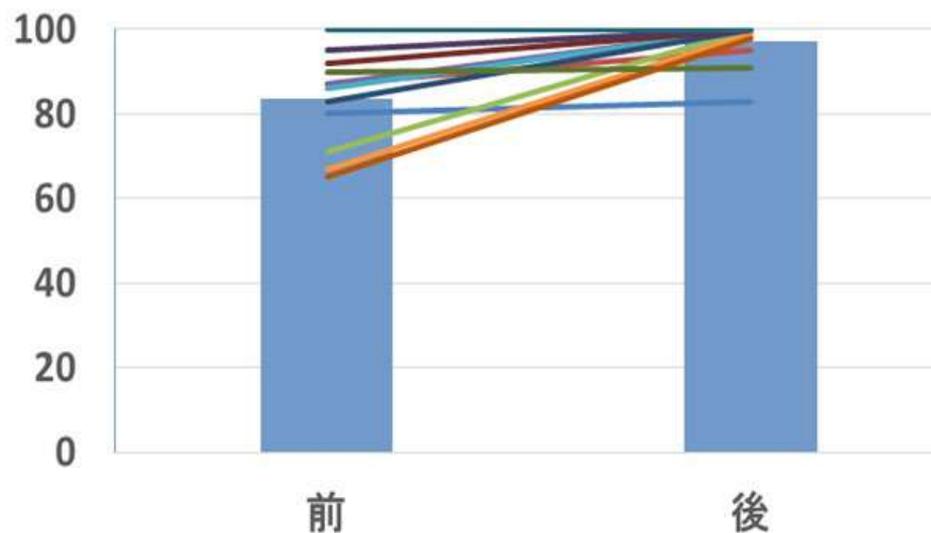


住民講話に参加した学生の意識変容

①地域医療へのイメージが改善したか



②総合的に判断して意義があると思うか



①参加することで地域医療へのイメージが良くなるか、

②総合的に判断して意義があると思うか、

の2項目に関しては、有意な差をもって点数の増加がみられた。(P<0.01)

有意差はみられないものの、地域医療に関する項目はいずれも点数の改善を認めた。

夏季セミナーでの取り組み

ワークショップで住民活動の取り組みを聴講



グループワークで住民・医療者・行政関係者が一緒になって、街づくりを考える





丹波市の医療課題と その解決策

A班

丹波市の医療課題

インタビューの声

- ・「家の近くに診療所がない」
 - ・慢性期患者さんの受け皿がない
- 入院の長期化



神楽の郷交流センター

DAZZLIN
96





ホームステイ型地域医療実習

住民宅12家庭に学生16人が 同時期にホームステイ

初の医学生ホームステイ

へき地での勤務などをめざす県養成医学生らが18、19の両日、将来の研修、勤務先の候補地の一つの県立柏原病院を訪れ、院内で実習や地域医療を守る活動をしている住民グループらと「医療を通じた丹波の未来の街づくり」を考

県立
柏原
病院

えた。今回初めて住民宅に医学生が宿泊する「ホームステイ」が企画され、12家庭が学生16人を受け入れた。夕食の食卓を囲みながら日ごろの暮らしや、地域医療について感じることなどをざっくばらんに話し合った。(足立智和)



岩本さん一家と食卓を囲み談笑する西山さん（左端）、高木さん（左から2人目）＝柏原町柏原で

12家庭で16人受け入れ

ホームステイ先のホストファミリーと 学生との集合写真



ホームステイ先 にて



ホームステイ型地域医療実習における ホストファミリーの思いの調査 —兵庫県立柏原病院夏季セミナーより—

見坂恒明^{1), 2)} 八幡晋輔^{2), 3)} 岡山雅信³⁾

1) 兵庫県立柏原病院 地域医療教育センター

2) 神戸大学大学院医学研究科 地域医療支援学部門

3) 同 地域医療教育学部門

背景

地域医療実習において、地域住民と触れ合う機会の重要性が示唆されている¹⁾。このため、ホームステイ型地域医療実習を取り入れる医育機関もある²⁾。しかし我々の知り得る限り、ホームステイ受け入れ先のホストファミリーに対し調査した研究は見当たらない。

結論

ホストファミリーとなった地域住民は、医学生とのホームステイや住民との直接交流に意義があると考え、将来この地域で働いてほしいと強く思っていることがわかった。

目的

ホームステイ型地域医療実習にご協力頂いた地域住民の視点で、医学生への思いを検証する。

方法

兵庫県立柏原（かいばら）病院における地域医療夏季セミナーにおいて、初めてホームステイ型地域医療実習を行った。医学生15名が1泊2日の日程で同時期にホームステイを行った。公募を行いホストファミリーとなった地域住民を対象に、実習終了後に自己記入式質問紙票調査を行った。Visual Analogue Scale (VAS)を用い、0~100mmで評価した。

質問内容は、

- ① 学生が地域医療実習を行うことは意義があるか、
- ② ホームステイ受け入れが楽しかったか、
- ③ ホームステイ受け入れに負担を感じたか（負担ありが0、負担なしが100）、
- ④ 学生が住民宅にホームステイすることは意義があるか、
- ⑤ 学生が住民と直接交流するプロセスに意義があるか

ホストファミリーとの
対面・引き渡し



質問項目	VAS score n=12	ホストファミリー経験があるか		p値
		ある n=6	ない n=6	
学生が地域医療実習を行うことは意義があるか	93.9 ± 7.1	96.8 ± 3.8	91.0 ± 8.6	0.240
ホームステイ受け入れが楽しかったか	90.0 ± 14.6	94.5 ± 6.6	85.5 ± 19.5	0.699
ホームステイ受け入れに負担を感じたか (負担ありが0, 負担なしが100)	84.8 ± 15.6	80.7 ± 12.6	89.0 ± 18.4	0.065
学生が住民宅にホームステイすることは意義があるか	85.0 ± 11.4	89.3 ± 6.1	80.7 ± 14.3	0.310
学生が住民と直接交流することに意義があるか	85.7 ± 11.5	90.5 ± 6.6	80.8 ± 13.9	0.240
ホームステイの取り組みを続けてほしいか	87.0 ± 17.0	94.2 ± 4.4	79.8 ± 22.2	0.485
今後もホームステイに協力するか	86.9 ± 18.0	86.7 ± 19.0	87.2 ± 18.8	0.937
地方で働く医師を立派だと思うか	92.2 ± 11.0	90.2 ± 14.6	94.2 ± 6.6	1.000
ホームステイで受け入れた学生が、将来この地域で働いてほしいか	95.7 ± 5.5	97.2 ± 3.7	94.2 ± 6.9	0.485

質問項目	自身が定期通院患者か			家族に医療従事者がいるか		
	はい n=8	いいえ n=4	p値	いる n=7	いない n=5	p値
学生が地域医療実習を行うことは意義があるか	93.3 ± 8.4	95.3 ± 3.7	1.000	95.4 ± 5.1	91.8 ± 9.4	0.639
ホームステイ受け入れが楽しかったか	87.0 ± 17.3	96.0 ± 3.9	0.808	94.9 ± 6.3	83.2 ± 20.7	0.530
ホームステイ受け入れに負担を感じたか (負担ありが0, 負担なしが100)	86.8 ± 16.4	81.0 ± 15.4	0.283	83.9 ± 13.9	86.2 ± 19.5	0.530
学生が住民宅にホームステイすることは意義があるか	83.9 ± 13.9	87.3 ± 4.0	0.808	89.1 ± 6.9	79.2 ± 14.7	0.149
学生が住民と直接交流することに意義があるか	84.3 ± 13.7	88.5 ± 6.0	0.683	90.3 ± 7.2	79.2 ± 14.1	0.149
ホームステイの取り組みを続けてほしいか	83.9 ± 20.3	93.3 ± 4.2	0.933	93.4 ± 6.0	78.0 ± 23.8	0.530
今後もホームステイに協力するか	87.3 ± 17.2	86.3 ± 22.2	0.808	87.7 ± 17.6	85.8 ± 20.6	1.000
地方で働く医師を立派だと思うか	95.6 ± 6.2	85.3 ± 16.1	0.283	93.1 ± 13.2	90.8 ± 8.3	0.343
ホームステイで受け入れた学生が、 将来この地域で働いてほしいか	94.5 ± 6.4	98.0 ± 2.4	0.461	97.1 ± 3.8	93.6 ± 7.3	0.343

ホームステイ型地域医療実習における 学生の意識変化①

P値

地域医療の現場を
実習体験することに意
義があるか

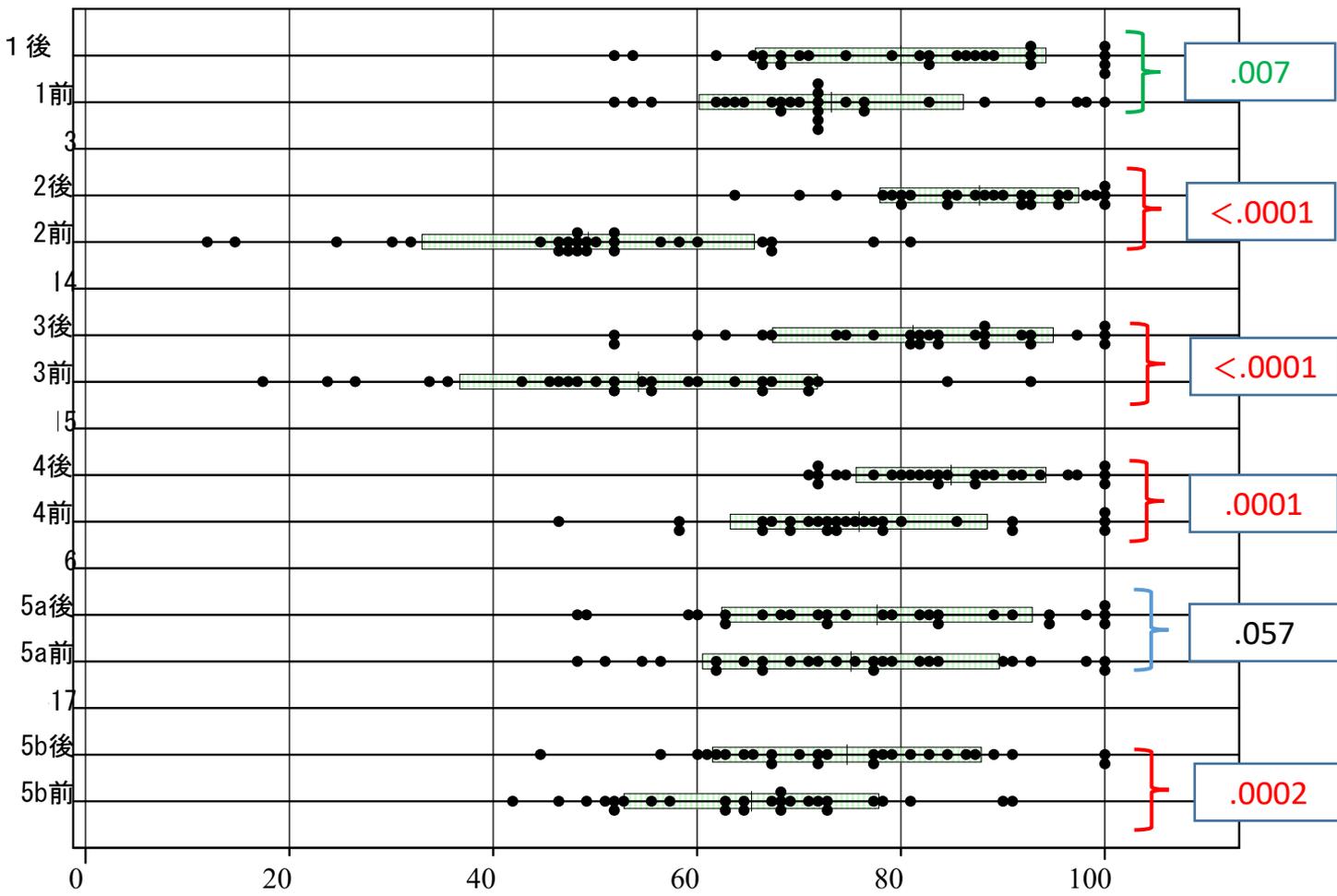
ホームステイは楽しい
か

住民宅にホームステイ
することに意義がある
か

住民と直接交流するこ
とに意義があるか

都市部ではなく地方で
働く医師を立派だと思
うか

都市部ではなく地方で
働く医師は楽しそうか



対象学生: 28名

Visual Analogue Scale (VAS), 0~100mm

ホームステイ型地域医療実習における 学生の意識変化②

地方で医療を実践することはやりがいがあるか

地方で医療を実践する自信があるか

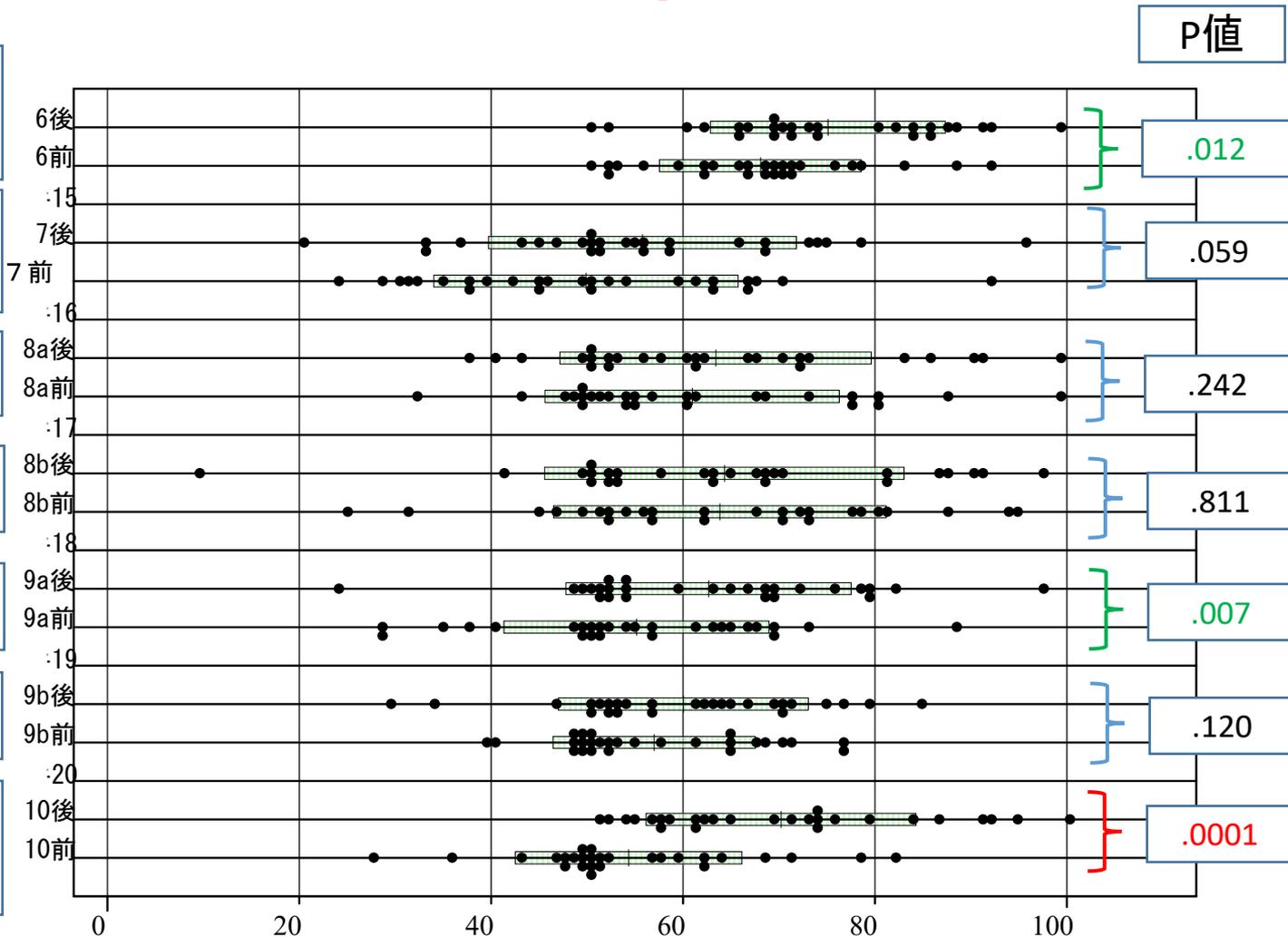
将来、臓器別専門医になりたいか

将来、総合診療医になりたいか

将来、へき地で働きたいか

将来、都市部で働きたいか

将来、ホームステイを行った丹波地域で働きたいか



対象学生: 28名

Visual Analogue Scale (VAS), 0~100mm

本日の内容

- 兵庫県立柏原(かいばら)病院の過去と現在
- 病院を守る住民運動の活動紹介
- 地元の一般住民に、医療への関心をもってもらおう
取り組み
- 地域医療教育の取り組み
- 兵庫県立柏原病院改め丹波医療センターのこれから

医療・コンプレックスの全貌

救急車入口

太陽電池

HP

パーパ
ビック

西入口

救急車

保育所

兵庫県立丹波医療センター

駐車場
1026台

病院入口

東入口

看護学校体育館

丹波市健康センターミルネ

丹波市立看護学校

地域医療のモデル、中心地に！！
・健康増進と健康寿命の延長

2017年8月からの取り組み;
ノエル医師(南アフリカ)の招聘
による**国際化**へ

2018年、オーストリア、スペインから
2019年、コスタリカから3名
スペインから1名の医師



国際医療状況に関する懇談会が行われました

11月27日に、見坂地域医療教育センター長をはじめとする4カ国の総合診療医（家庭医）や、その他家庭医療に関心のある医師・研修医、家庭医療指導医のけやきクリニック上山院長等も参加し、英語を共通言語に、各国の家庭医の現状と、日本における家庭医の展望を話し合いました。

今回参加した海外の医師は、芳賀洋文医師（オーストラリアの家庭医）、ジュアン・カミノ・カルポ氏（スペインの家庭医）ノエル・ドナルド・ハウザー氏（南アフリカ医師）です。

懇談会については、丹波新聞にも掲載されました。

日本における総合診療医の現状と展望について意見交換する医師たち
＝ 県立柏原病院で



「役割と可能性大きい」

4カ国医師ら 総合診療医の将来展望
県立柏原で懇談

領域小 今年 診療 総合 診療 会 診 合 診 各 国 日 本 望 進 不 材 増 者 小 躍 合 昨 日 ナ 本 ざ



コスタリカ総合診療医が実習にTMCへ



県立丹波医療センター・丹波市ミルネ診療所

- **only one**を目指して -

救急部門
2次、3次救急

急性期入院診療

- ・内科
総合内科、循環器内科、
消化器内科、神経内科
呼吸器内科
- ・外科(腹部、乳腺)
- ・その他
小児科、産婦人科、整形、
眼科、脳外科、耳鼻科、
皮膚科、口腔外科
- ・ICU/HCU(集中治療室)
- ・透析室

外来部門

- ・専門外来
- ・特殊外来

地域包括ケア病棟

回復期・リハビリ病棟

緩和ケア病棟

地域医療教育センター

ミルネ診療所

丹波市健康センター
ミルネ

総合診療センター

- ・総合診療外来
- ・健診、人間ドック
- ・在宅療養支援

休日・夜間
応急診療センター

福祉センター

保健センター

基本理念

地域医療の中核病院として良質で安全な医療を提供し、地域住民の健康に貢献します。

基本方針

1. 世界標準の医療を提供します。
2. 急性期から回復期、終末期までの幅広い医療を提供します。
3. 救急と災害医療の拠点病院として医療を提供します。
4. 多職種と協働して、信頼される患者中心の医療を提供します。
5. 地域の医療機関や丹波市健康センターと連携し、最良の地域医療システムを構築します。
6. 教え学びを病院の文化とし、地域医療に貢献できる医療人を育成します。



これらのソフトは新病院、ミルネと看護学校のハードにちりばめられている。

丹波市健康センターミルネの機能

1. 総合診療センター

- ・総合診療外来
- ・在宅療養支援
- ・健診(一般、癌)、人間ドック
- ・訪問看護、訪問リハビリ

県立丹波医療センターが指定管理

丹波市ミルネ診療所

丹波市ミルネ診療所健診センター

丹波市ミルネ訪問看護ステーション

2. 休日応急・平日夜間応急診療センター

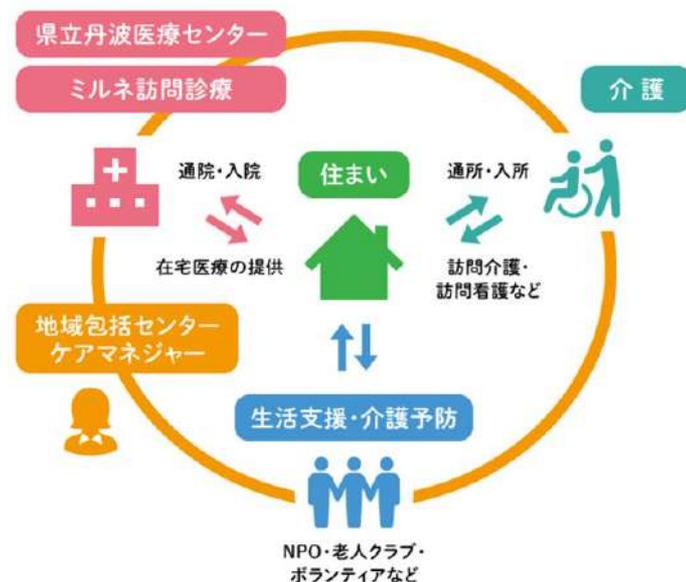
- ・平日夜間(20時から22時)
- ・休日

3. 福祉センター

- ・地域包括支援センター(介護予防・相談など)
- ・子供発達支援センター

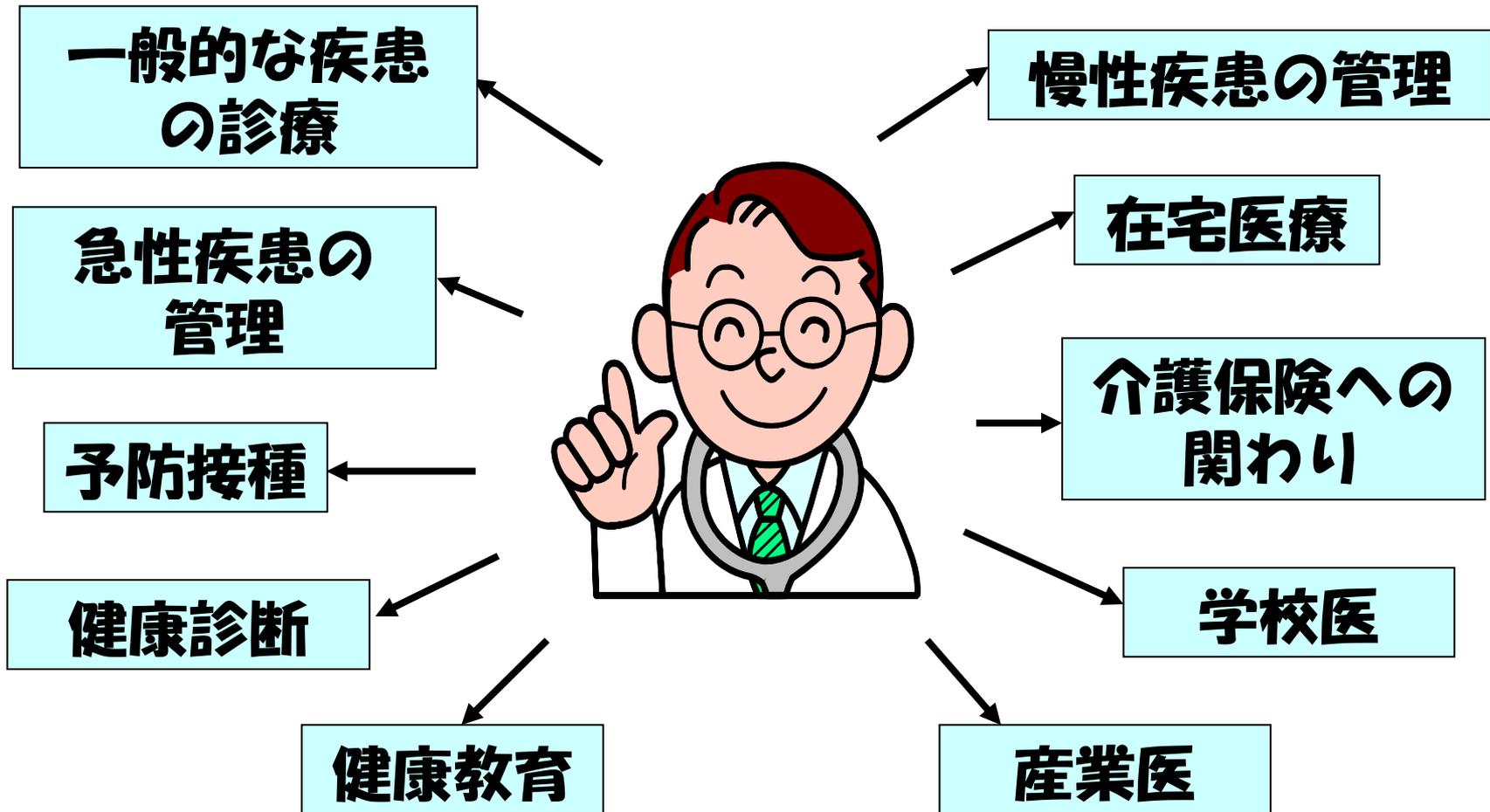
4. 保健センター

- ・健康啓発
- ・疾病予防
- ・母子保健(乳幼児健診、乳児家庭訪問など)



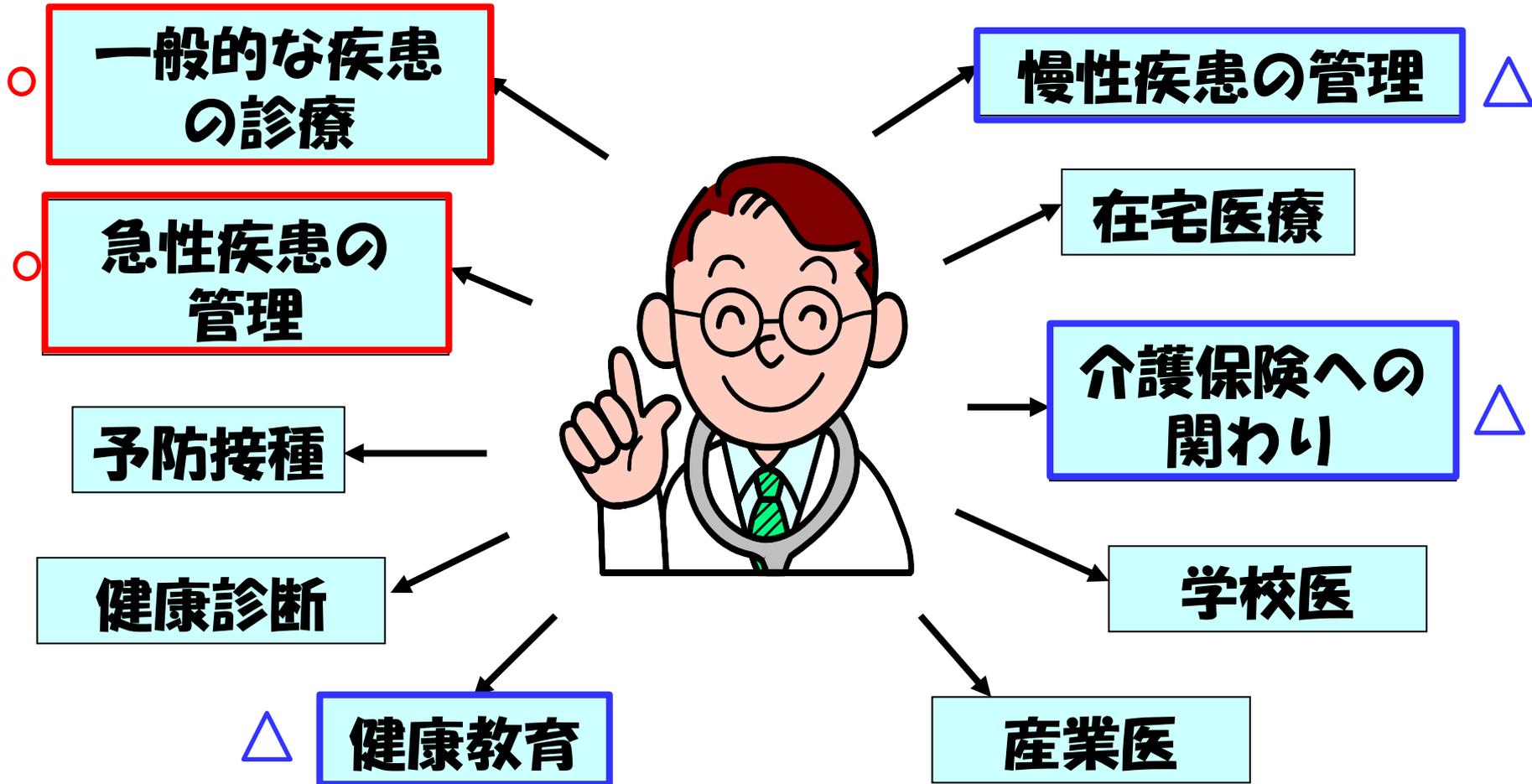
地域における総合診療医 の役割

(何でも相談できる医師)



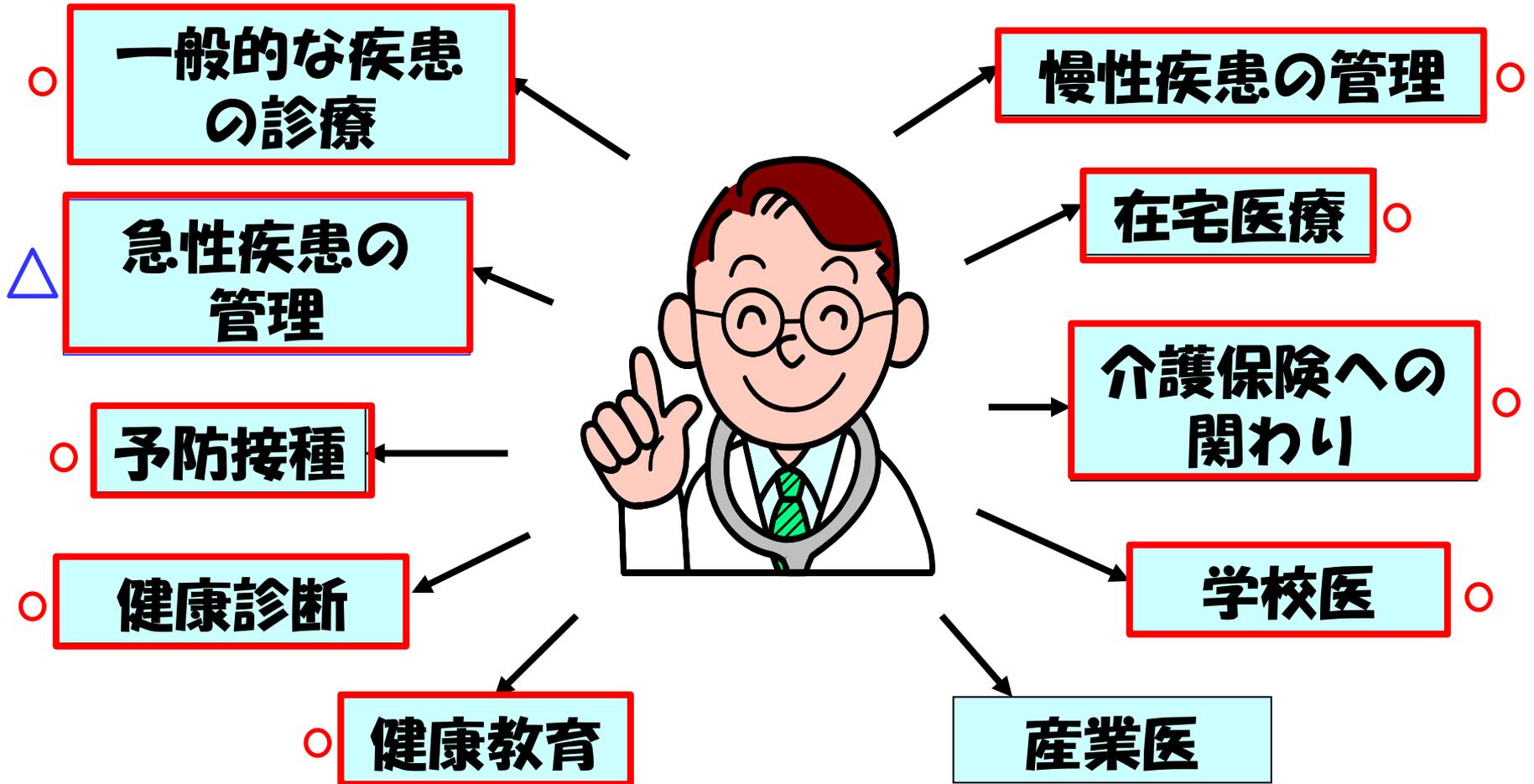
丹波医療センターにおける 総合診療医の役割

(何でも相談できる医師)



ミルネ診療所における 総合診療医の役割

(何でも相談できる医師)



ミルネ診療所実績

(2019年度7月～翌年3月;9か月間)

- 訪問診療の新規導入; **43件**、
(救急診療や緩和病棟等、丹波医療センターの全面的バックアップがあり安心)

- 在宅看取り **12件**、病院看取り14件

丹波市内の在宅死の増加に大幅に貢献!

在宅死割合が1%増加し全国平均を越す

- 健診・ドック 1日平均40件(併設の健診センター)
- 総合診療外来 1日平均20人(2020/08現在30人程度)
- 予防接種
- 併設する看護学校の学校医の役割



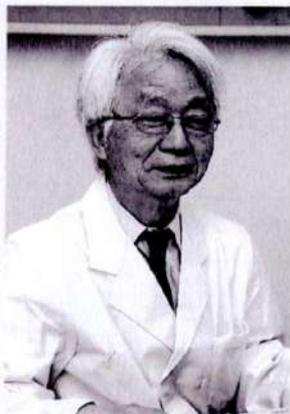
兵庫県立丹波医療センター、丹波市健康センターミルネ 7月始動 記念対談

深刻な医師不足を乗り越え、丹波市氷上町石生に兵庫県立丹波医療センターが7月1日に開院する。併せて隣接地に、地域包括ケアシステムの中核的な役割や、同センターと連携して保健・医療・福祉・介護を担う丹波市健康センターミルネを整備。両施設が診療と教育両面で連携することも大きな特

徴だ。地域における医療、介護、健康増進の連携拠点、そして医療人材の育成拠点として全国的なモデルを目指す丹波医療センターと丹波市健康センターミルネの取り組みについて、秋田穂束・県立柏原病院長と谷口進一・丹波市長がそれぞれの思いとこれから目指す病院、地域の姿を語り合った。

医療、健康増進 新拠点に

県立柏原病院院長
秋田 穂束氏



丹波市長
谷口 進一氏



「いよいよ兵庫県立丹波医療センター、そして丹波市健康センターミルネがオープンする。今の気持ちには、丹波市にとって21世紀前半最大のプロジェクトだ。この統合新病院メディカルコンプレックス(総合医療施設)は単なる医療拠点にとどまらず地方創生のシンボルであり、オープンをきっかけに一気呵成にまちづくりを進めていく。医師不足による医療危機を乗り越え、これまで医師の確保に努めてこられた秋田院長のご尽力に心より感謝を申し上げます。市民一人一人が病院の経営に関心を持ってより立ててほしいし、丹波市としても存続のために一丸となつて協力する。」

秋田 丹波医療センターは地方都市にある病院の一つではなく、若い医師が集まってくるオンシリーワンの病院を目指している。丹波市のミルネとの連携もまさにそうした仕掛けの一つだ。新病院の雇用は580人になる。このビッグプロジェクトを呼び水に医療、健康、介護をまちづくりの活性化につなげていきたい。

—新病院の設立に至る経緯は。

秋田 当地には急性期医療を担う県立柏原病院と、主に回復期、在宅医療や健診などを担当する柏原赤十字病院がある。2004年の新医師臨床研修制度の導入以降、両病院とも研修医が集まらなくなり、医師数が激減した。柏原

診療、教育両面で連携

同じ敷地内の意義は大きい。

谷口 地方創生のシンボルに

秋田 若い医師ら集う病院へ(人材育成)

地方都市の病院のone of themではなくonly oneを！！

“世界標準”の医療を地域に
地域医療のメッカに

田舎(とかいなか)であっても

- 高度な“国際標準”の医療
- ミルネ(健診、ドック、生活指導など)による予防医療
- 認知症・フレイル(脆弱)防止プログラム
 - ①運動、②栄養と噛む力、③社会参加(趣味、ボランティア等)、④脳の活性化
- ICTを用いた医療・介護システム
- 市民大学(仮;健康講話など)、丹波OB大学(学習)
- その他丹波の魅力

を目玉に

➡ **CCRC**; continuing care retirement community
“生涯活躍のまち”

地方に移り住み、健康で活動的な生活を送り、
医療・介護が必要なときには継続的なケアを受ける。

カードかざせば処方箋・体質…

兵庫県丹波市とシステム開発のNECネットワークスは、住民の医療・介護情報を医療機関や介護事業者が共有するシステムを開発する。2019年度中に稼働させる。住民が市から配られたICカードなどを専用端末にかざすと、医師らが住民のアレルギー症状や介護内容を見られる。在宅医療・介護に不可欠な情報インフラを地域で整備して、効率的な医療・介護サービスを推進する。

医療・介護情報を共有するシステムは厚生労働省が導入を支援してお

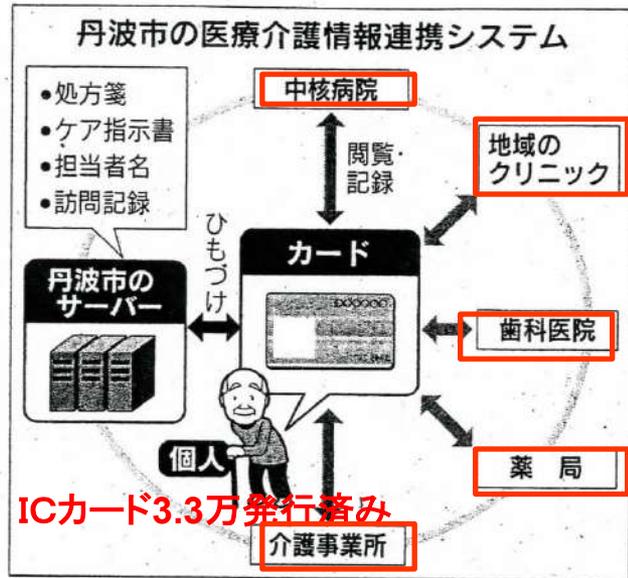
丹波市、NECネットワークと構築

一部自治体や医療機関で導入されているが、数百から数千人単位と規模が小さいものが多し。丹波市の人口は約6万5000人。住民が希望すればICカードなどを全員に配るほか、市内の医療機関と薬局の8割、介護事業者の3割が参加を決めている。市全体のこれだけの規模でシステムを導入するのは珍しく、ほかの自治体の先行事例にもなりそつだ。

医療介護情報地域で共有

医療介護の先駆的なICTの取り組み、**“健康管理”**住みやすい丹波をめざして来年度運用開始。

医師ら閲覧、在宅推進



薬の多用(ポリファーマシー)を防止
薬情報の共有



いとう・ゆきこ
78年生まれ。東京大経卒。ブラウン大博士(経済学)。専門は実証経済学

2019年9月26日、厚生労働省の「地域医療構想に関するワーキンググループ(第24回)」は医療提供体制の「再検証要請対象」424病院を含む、公立・公的医療機関1455病院の情報公表した。地域医療構想に向けた情報は既に何度も地域(構想区域)別には示されてきたが、具体的な議論ができたが、具体的な議論ができたが、情報公開されたことは前進だ。

地域医療構想がめざす病床機能再編は、急性疾患に代わり慢性疾患が増える中で、病院の設置主体にかかわらず避けて通れない。民間を含めた、急性期(高度急性期含む)をもつ4549病院全て(17年の病床機能報告による)の情報公開が必要である。18年度の入院医療費(病院)は17兆円もの規模であり、その費用の85%は公費と公的保険料、つまり国全体で賄う。その点では「再検証」の病院や地域の問題に限らず、全体像の把握が必要だ。本稿ではそのための3つのポ

伊藤由希子 津田塾大学教授

医療制度改革の視点 ①

病院は「健康拠点」目指せ

急性期病床を持つ公立・公的病院の平均像とその分布

類似かつ近接の診療領域が多い(最大6領域)

病床数 平均160床
非稼働急性期 31%
1ヶ月あたり救急搬送 38件
類似近接5領域以上
下位診療実績7領域以上
513病院

対象病院の平均像

平均全病床数 328床
非稼働急性期病床割合 21%
診療実績の少ない領域数 5.1/9領域中
類似かつ近接する領域数 3.9/6領域中
1ヶ月あたり救急搬送 191件

病床数 平均536床
非稼働急性期 17%
1ヶ月あたり救急搬送 381件
類似近接2領域以下
下位診療実績3領域以下
322病院

地域内での診療実績が相対的に少ない(最大9領域)

(注)「類似かつ近接の診療領域」の定義 がん、心血管疾患、脳卒中、救急、小児、周産期の6領域において、類似機能の他病院が車で20分以内に立地する場合
「診療実績が少ない診療領域」の定義 がん、心血管疾患、脳卒中、救急、小児、周産期、災害、へき地、研修派遣の9領域の実績数が区域内の下位3分の1以下である場合
非稼働急性期病床割合 同一の階層(類似近接・診療実績)に属する病院における非稼働急性期病床数の総数を急性期病床数総数で除したものと、非稼働急性期病床数は、急性期病床数(急性期病床稼働率)にて各病院単位で計測したもの

ポイント

- 病院の再編より急性期医療の再編が必要
- 地域の持続性なくして病院の持続性なし
- 再編のために投資する発想から脱却せよ

イントを示したい。

.....

第1のポイントは、今回の情報は、病院の機能のうち、「急性期」という看板の中身を可視化することに特化したものである、ということだ。急性期機能は病床数の6割を占め、最も医療資源を投下し、診療報酬が高く設定されている。医療の持続性を考える上で、まず注目すべき領域だ。実は17年度まで、病床機能報告に際し、定量的な急性期の基準は設けられていなかった。その結果、実際には

急性期医療を全く提供していない病院が全体の14%も存在すること(18年時点)が明らかになった。

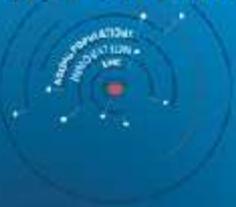
その状況でもなお、病院の「急性期」志向に変化はみられない。18年度の病床機能報告(速報)によれば、現在の急性期病床数は72・8万床で25年の見込みは71・9万床である。ちなみに国が「地域医療構想策定ガイドライン」(15年)において25年時の必要量として推計した急性期病床数は53万床だ。

現在、平均在院日数はすでに推計時より1日以上短

縮しており、将来の必要病床はさらに少ない。今回示された、「類似の急性期機能が近接している」「へき地医療も含めて診療実績が少ない」という病院単位の指摘は、「急性期」を減らす動機を持たない当事者らにむけて客観的な立ち位置を示す上で重要だ。

第2のポイントは、地域の付加価値を高めるという目的の手段として、急性期機能がどこまで必要かという議論である。既に医療提供体制に関する調整会議という場は設けられているが、主に医療関係者のみの

Building Comprehensive “Kobe Model” of Early Detection and Management for Dementia



World Health
Organization
Centre for Health Development



体育館

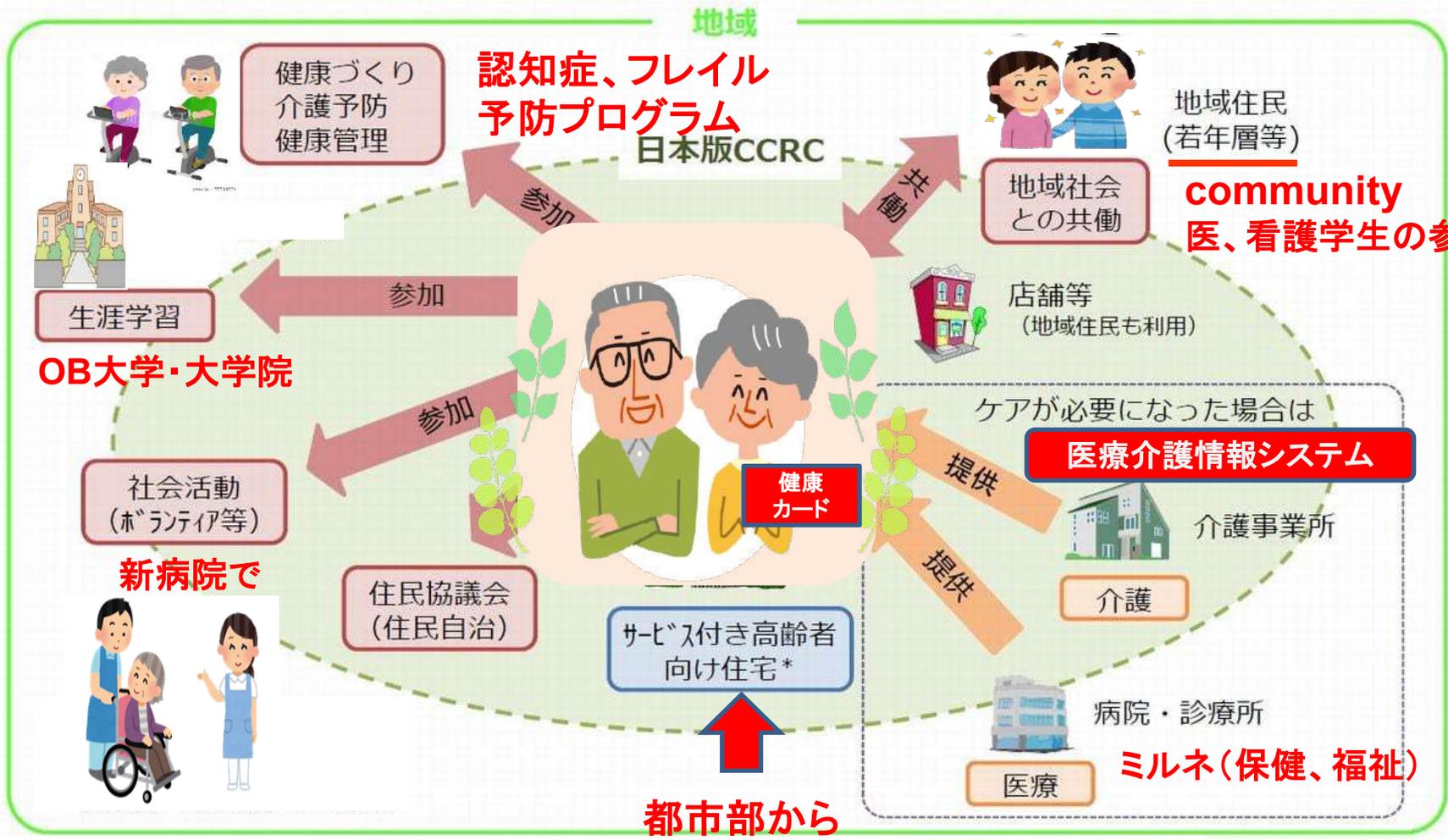
WHO神戸センターと神戸大学、 認知症の早期発見・早期介入をめざす 「神戸モデル」構築に向けた共同研究を開始

参加者には脳を活性化させる「**認知課題**」と「**運動**」を組み合わせ
たプログラムに定期的に取り組んでもらい、成果を評価。

⇒総合診療チームも研究協力

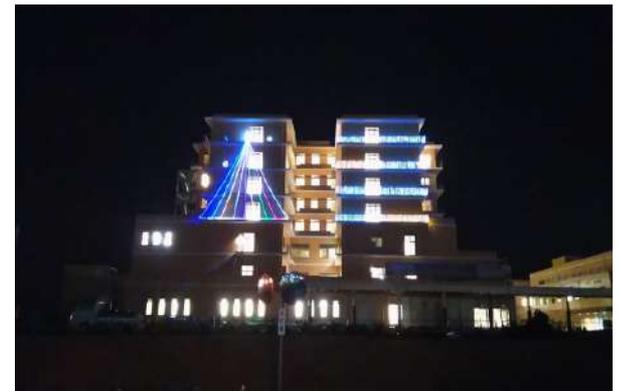
“生涯活躍のまち”を丹波で

丹波市CCRC



県立丹波医療センターTMC・ 丹波市ミルネはハイブリッド施設として 2019/7/1開院

- ・全国に発信できる、
地域医療の新たなモデル
only oneをめざします。
- ・**健康寿命日本一**を目指します。
- ・医療、健康、福祉は有望な**産業**であり、
地域を活性化させます。



ご清聴ありがとうございました

